

教科	科目		担当者	
国語	現代の国語	単位数：2単位	内藤啓太	
教科目標				
・ 普段何気なく使っている言葉の持つ力をあらためて実感する。 ・ 自分や他者の思いや考えを汲み取ろうとする習慣を身に付ける。 ・ 読み書きによるコミュニケーションの難しさおよび面白さを自覚する。				
通信講座	あり	講座数：全5回	使用媒体	NHK高校講座
教科書	東京書籍 新編現代の国語（現国701）			
面接指導	1単位時間×1回		学習用図書	自校教材
添削指導	全6回	合格枚数6枚	副教材	なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評定	5段階評価

回	通信講座（単元・学習内容）	回	添削指導（単元・内容）
1	自分を伝え、相手を知ろう	1	1.自己を見つめる 「こそそめスープ」 「ルリボシカミキリの青」
2	憧れのプロにインタビュー	2	2.他者に出会う 「未来をつくる想像力」「水の東西」
3	論理的ってどういうこと？	3	4.視野を広げる 「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」 「無彩の色」
4	「やさしい日本語」で話そう	4	5.社会と関わる 「鍋洗いの日々」「森で染める人」 「真夏のひしこ漁」
5	言葉を使って生きていく	5	7.世界とつながる 「美しさの発見」「りんごのほっぺ」
		6	8.未来に目を向ける 「不思議な拍手」「真の自立とは」
スクーリング内容			
第1回			
第1回添削指導を踏まえ、グループワークや個人ワークを織り交ぜながら、「こそそめスープ」の読解を深める。			
試験			
教科書掲載作品から最も印象に残ったものを選び、その作品についての論述を行う。読解に基づき自分の思いや考えを論理的に表現することができているかを評価する。また、知識や技能を問う問題も設定する。			
担当者から履修者へのメッセージ			
作品を読む楽しみは、書かれた内容をきっかけに自分の世界が広がるところにあると思います。読むことも書くことも他者とのコミュニケーションです。読み書きは、遠く離れたちがう時代の人々との交流を可能にします。国語を学ぶことは、時と場所を超える魔法を身に付けていくプロセスであり、身近な人がより身近になる手段を学ぶことなのです。レポート課題やスクーリング、単位認定試験を通し、みなさんの世界が広がることを願っています。			

教科	科目		担当者
国語	言語文化	単位数：2単位	松岡洋
教科目標			
・ 古典作品を読むことで、各時代の人々がどのようなことを考えてきたかを理解する。 ・ それを通じて、自分を見つめなおし、生きるヒントを得る。 ・ 一人ひとりが言語文化の担い手であることを自覚する。			
通信講座	あり	講座数：全5回	使用媒体 NHK高校講座
教科書	東京書籍 新編言語文化（言文701）		
面接指導	1単位時間×1回		学習用図書 自校教材
添削指導	全6回	合格枚数6枚	副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価 5段階評価

回	通信講座（単元・学習内容）	回	添削指導（単元・内容）
1	古文に親しむ	1	【現代文編】1.随筆 2.小説 「さくらさくらさくら」「美しい」ということ 「とんかつ」「雨漏りの音」
2	訓読の基本	2	【現代文編】3.詩歌 「柳あをめる」「雪の深さを」「冬が来た」 「少年の日」「I was born」
3	漢詩と日本文学	3	【現代文編】4.小説2 5.小説3 「羅生門」「夢十夜」
4	「論語」を読む	4	【古文編】2.随筆 3.詩歌 「徒然草」「枕草子」「折々のうた」
5	小説への誘い	5	【古文編】4.物語 5.紀行 「伊勢物語」「平家物語」「奥の細道」
		6	【漢文編】1.漢文入門 2.漢詩 3.論語 4.史話 「訓読の基本」「故事成語」「絶句と律詩」 「論語 八章」「史話 三編」

スクーリング内容

第1回

第1回添削指導を踏まえ、グループワークや個人ワークを織り交ぜながら、「さくらさくらさくら」の読解を深める。

試験

教科書掲載作品から最も印象に残ったものを選び、その作品についての論述を行う。読解に基づき自分の思いや考えを論理的に表現することができているかを評価する。また、知識や技能を問う問題も設定する。

担当者から履修者へのメッセージ

古文・漢文を身に付けることは、遠く離れた世代の人々と心を通わせる手段を身に付けることです。各時代ごとに様々なものが移り変わる一方で、どの時代の中でも変わらないものもあります。変わりゆくものと変わらないもの、それぞれへの共感を大切にして、現代を生きる自分を見つめるまなざしが深まることを願っています。

教科	科目		担当者	
国語	論理国語	単位数：4単位		内藤啓太
教科目標				
・論理性は感受性を育むことを体感する。				
・論理を通じて他者との対話を活性化できるようになる。				
・筋道だった読解および発信ができるようになる。				
通信講座	あり	講座数：全10回	使用媒体	東京書籍オンライン動画
教科書	東京書籍 新編論理国語（論国701）			
面接指導	1単位時間×2回		学習用図書	自校教材
添削指導	全12回	合格枚数12枚	副教材	なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評定	5段階評価

回	通信講座（単元・学習内容）	回	添削指導（単元・内容）		
1	論理の力を鍛えよう	1	【Ⅰ部】1.広がる風景「対話とは何か」「世界をつくり替えるために」	7	【Ⅱ部】1.時代をひらく「最初のペンギン」「豊かさとは生物多様性」
2	言葉にすると、しないとき	2	2.考える手がかり「少女たちの「ひろしま」「ふしぎ」ということ」	8	2.新しい視点から「物語の外から」「カフェの開店準備」
3	学びの窓をひらいて				
4	知っておきたいカタカナ語	3	3.人間と知性「学ぶことと人間の知恵」「ラップトップ抱えた「石器人」」	9	3.科学と人間「鏡としてのアンドロイド」「ロボットが隣人になるとき」
5	紛らわしい漢字				
6	的確に表現するために	4	4.現実の中で「思考の肺活量」「安心について」	10	4.豊かな認識「言葉は「ものの名前」ではない」「科学的「発見」とは」
7	やさしい日本語①				
8	やさしい日本語②	5	5.ものの見方「弱肉強食は自然の摂理か」「複数の「わたし」」	11	5.知のゆくえ「知識における作者性と構造的性」「もう一つの知性」
9	面接の受け方				
10	情景のなかの労働	6	6.働くよろこび「はじめて「言葉」がある」「楽に働くこと、楽しく働くこと」「情景のなかの労働」「鉄、千年のいのち」	12	6.明日を見つめて「ホンモノのおカネの作り方」「未来のありか」
スクーリング内容					
第1回					
第1回添削指導を踏まえ、グループワークや個人ワークを織り交ぜながら、「対話とは何か」の読解を深める。					
第2回					
第1回添削指導を踏まえ、グループワークや個人ワークを織り交ぜながら、「世界をつくり替えるために」の読解を深める。					
試験					
教科書掲載作品から最も印象に残ったものを選び、その作品についての論述を行う。読解に基づき自分の思いや考えを論理的に表現することができているかを評価する。また、知識や技能を問う問題も設定する。					
担当者から履修者へのメッセージ					
「論理的」という言葉には「堅苦しく、理屈っぽい」というイメージがあるのではないのでしょうか。論理にはたしかにそういう面があると思います。しかし筋の通った論理を使えることは、自分の思いを整理することに役立ったり、人の話をきめ細やかに聴き取ることに役立ちます。論理性と感受性は、深いところでつながっているのです。論理国語を学ぶことで、みなさんの日常が豊かになることを願っています。					

教科	科目		担当者	
国語	文学国語	単位数：4単位		松岡洋
教科目標				
・書き手の視点を想像できる読み手になることができる。				
・文学作品の読みはどこまでも深まる可能性があることを自覚する。				
・感想や考えを粘り強く言語化する習慣を身に付ける。				
通信講座	あり	講座数：全10回	使用媒体	自校作成動画
教科書	東京書籍 文学国語（文国701）			
面接指導	1単位時間×2回		学習用図書	自校教材
添削指導	全12回	合格枚数12枚	副教材	なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価	5段階評価

回	通信講座（単元・学習内容）	回	添削指導（単元・内容）		
1	変身ということ	1	【Ⅰ部】1.随筆 2.小説1 「光の窓」「雨月物語」 「山月記」「窓」	7	【Ⅱ部】1.随筆1 2.小説1 「国語から旅立って」「書か れた風景の中へ」「檸檬」
2	書評を書く	2	3.評論1 5.詩歌 「言 葉を生きる」「詩と感情 生活」「鉄」「竹」「永 訣の朝」「硝子の駒」 「モードの変遷」	8	3.詩歌 4.随筆2「夏の姿」 「帰途」「小諸なる古城のほ とり」「金剛の露」「平気」 「空っぽの瓶」「クレールと いう女」
3	小説は誰のものか				
4	襖という建具 ～「こころ」の読みを深めて みる～	3	4.小説2「山椒魚」「沖縄 の手記から」	9	5.戯曲「父と暮らせば」
5	小説の人称を書き換える				
6	記号も言語の一種	4	6.小説3「こころ」	10	6.小説2「舞姫」
7	小説の冒頭部				
8	映画と小説	5	7.評論2 「文学のふるさ と」「文学の未来」	11	7.評論「演技する「私」」「映 画の可能性のために」
9	創作へのアプローチ				
10	読書案内	6	8.小説4「鞆」「あの 朝」	12	8.小説3「葉桜と魔笛」 「蠅」

スクーリング内容

第1回

第3回添削指導を踏まえ、グループワークや個人ワークを織り交ぜながら、「山椒魚」の読解を深める。

第2回

第3回添削指導と、第1回のスクーリング内容を踏まえ、グループワークや個人ワークを織り交ぜながら、「山椒魚」の読解を深める。また、「山椒魚」を書くに至った筆者の当時の心情にも着目し、創作活動の妙味について考える。

試験

教科書掲載作品から最も印象に残ったものを選び、その作品についての論述を行う。読解に基づき自分の思いや考えを論理的に表現することができているかを評価する。また、知識や技能を問う問題も設定する。

担当者から履修者へのメッセージ

文学作品には様々な人の経験や想い、生き様や出来事が表れます。だから文学作品に触れることは、自分の人生の枠組みを超えた出会いを経験することです。出会いの意味は人それぞれですし、時期によっても異なります。今のみなさんがたにとって、文学国語で触れる作品がどのような意味を持っているか、レポート課題や面接指導などの中で見られることを楽しみにしています。

教科	科目		担当者	
国語	国語表現	単位数：4単位	松岡洋	
教科目標				
・相手に物事や考えを伝えるための言葉による表現技術を習得および実践する。				
・言語表現を工夫することを楽しめる精神性を培う。				
・相手の言語表現を相手の見方に則して受け取る習慣を養う。				
通信講座	あり	講座数：全10回	使用媒体	自校作成動画
教科書	東京書籍 国語表現（国表702）			
面接指導	1単位時間×2回		学習用図書	自校教材
添削指導	全12回	合格枚数12枚	副教材	なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評定	5段階評価

回	通信講座（単元・学習内容）	回	添削指導（単元・内容）	
1	「対話」していますか？	1	表現とは何か	7 話し合う力をつけよう
2	インプロの魅力	2	分かりやすく説明しよう	8 表現と読書活動
3	よい質問とは			
4	人前で表現するのが苦手なあなたへ	3	身体で表現しよう	9 情報活用力を身につけよう
5	リンクを張る能力の鍛え方			
6	スポーツと同じように議論にもルールがある	4	「問い」を考えよう	10 説得力のある提案をしよう
7	読書もまた一つの「経験」			
8	読者への配慮	5	「自分」を表現しよう	11 表現を楽しもう
9	プレゼンテーションの仕方			
10	時間を味方につける	6	論理的な文章を書こう	12 心をつかむ表現
スクーリング内容				
第1回				
第1回添削指導を踏まえ、「表現とは何か」「何のために表現するのか」を考えていく。ものの見方の違いを実感するために「表現ジェスチャーゲーム」に挑戦する。				
第2回				
第4回添削指導を踏まえ、電話のかけ方についての基礎的知識を習得する。実際の電話場面を設定し、それに基づいた電話がけのロールプレイに挑戦する。				
試験				
メールや手紙、報告書など、各種文書の書き方についての基本的な知識を問う。教科書に掲載されている表現に関する評論へのみずからの意見を述べる問題も出題する。				
担当者から履修者へのメッセージ				
「国語は実学ではない」というイメージが、一般的と思われます。しかし本当にそうでしょうか。文章を通じて自分の考えを相手に伝える場面は社会にたくさんあり、そこではまさに「国語力」が問われます。また、相手が自分に伝えるメッセージを読み取る力や問う習慣がなければ、相手を誤解したままになる恐れも出ます。国語の力を伸ばすことは、社会を滑らかに回す力を鍛えることで、人間関係を育む力を伸ばすことでもあるのです。				

教科	科目		担当者	
国語	古典探究	単位数：4単位	内藤啓太	
教科目標				
・ 古文や漢文への興味関心を持てるようになる。 ・ 古文や漢文の読み方についての基礎知識を身に付ける。 ・ 古文や漢文がいかに日本に大きな影響を与えてきたかを感じ取る。				
通信講座	あり	講座数：全10回	使用媒体	東京書籍授業動画
教科書	東京書籍 新編古典探究（古探701）			
面接指導	1単位時間×2回		学習用図書	自校教材
添削指導	全12回	合格枚数12枚	副教材	なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価	5段階評価

回	通信講座（単元・学習内容）	回	添削指導（単元・内容）		
1	『徒然草』と『玉勝間』を読み比べる	1	古文編【Ⅰ部】1.説話に親しむ 2.随筆を読む	7	6.俳諧に親しむ 7.伝承の世界
2	竹取物語	2	3.作り物語を読む 4.和歌の世界	8	漢文編【Ⅰ部】1.故事と小話 2.唐詩と文
3	羽衣伝説				
4	日記文学	3	5.日記を読む 6.軍記物語を味わう	9	3.史記を読む 4.中国の知恵
5	ご当地キャラクターと古典				
6	嫉妬	4	7.近世文学の世界 【Ⅱ部】1.随筆を味わう	10	5.三国志の世界 【Ⅱ部】1.小話を読む
7	言葉の変遷を調べる				
8	現代に伝わる日本の神話	5	2.歌物語を楽しみ3.歴	11	2.古詩を味わう 3.史記を味わう
9	三国志				
10	儒家と道家	6	4.歌話・歌論を読む 5.作り物語を味わう	12	4.中国の知恵 5.日本の漢詩文

スクリーニング内容

第1回

第4回添削指導を踏まえ、グループワークや個人ワークを織り交ぜながら、「枕草子」を教材に古文の読解力を高める。

第2回

第8回添削指導を踏まえ、グループワークや個人ワークを織り交ぜながら、「漢文」の読解力を高める。

試験

教科書掲載作品から最も印象に残ったものを選び、その作品についての論述を行う。読解に基づき自分の思いや考えを論理的に表現することができているかを評価する。知識や技能を問う問題も設定する。

担当者から履修者へのメッセージ

古文や漢文を目にする機会は少ないかもしれませんが。英語やICTスキルが重視される現代では、それらは時代遅れに見えるかもしれません。しかしそれらが日本に与えた影響は大きく、私たちは今もその影響を受けて生きています。ちゃんと吸収された食べ物ほど跡形もなく消えますが、まさにそれと同じように、目立った形がなくなるほど古文や漢文が日本に吸収されていることを感じるきっかけになればと思います。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目		担当者
地理歴史	地理総合	単位数:2単位	野溝 怜央
教科目標			
社会的な見方、考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質、能力を養うことを目標とする。			
通信講座	あり	講座数:全3回	使用媒体 NHK高校講座
教科書	東京書籍 地理総合 (東書 地総701)		
面接指導	1単位時間×1回		学習用図書等 東京書籍動画
添削指導	全6回	合格枚数6枚	副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価 5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	NHK高校講座第1回 地球で暮らすってどういうこと？ ～地球上の生活～	1	第1編:地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章:私たちが暮らす世界 第2章:地図や地理情報システムの役割
		2	第3編:持続可能な地域づくりと私たち 第1章:自然環境と防災 第2章:生活圏の調査と地域の展望
2	NHK高校講座第7回 機構変われば暮らしも変わる？ ～各気候の生活～	3	第1編:地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第3章:資料から読み取る現代世界 第2編:国際理解と国際協力 第1章:人々の生活文化と多様な地理的環境 1節
3	NHK高校講座第12回 持続可能な社会って何？ ～地球的課題と地球環境問題～	4	第1章:人々の生活文化と多様な地理的環境 2節 3節
4		5	第1章:人々の生活文化と多様な地理的環境 4節 第2章:さまざまな地球的課題と国際協力 1節 2節
5		6	第2章:さまざまな地球的課題と国際協力 3節 4節 5節 6節 7節

スクーリング内容

第1回、第2回の添削指導を基に、地図を睨みながら防災の対処について考えよう。日本は様々な災害が起こりやすい国であることから、どのように関わっていくのか、対処していくのか話し合おう。

試験

添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に、地理総合で学んだ知識を問う。位置や空間的な広がりをつえ、地域の枠組みの中で、人間の営みと関連付けて、解答・説明できるか総合的に評価する。

担当者から履修者へのメッセージ

必修履修に伴う、地理総合の全体像は4つの柱からなります。GIS、グローバル、持続可能な社会づくり、防災です。これら4つの柱を中心に、私たちの身の回りの社会問題や地理的事象を自らの手で考察できるようになろう。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目	単位数	担当者
地理歴史	地理探究	単位数:3単位	野溝 怜央
教科目標			
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
通信講座	あり	講座数:全3回	使用媒体
教科書	東京書籍 地理探究 (東書 地探701)		
面接指導	1単位時間×2回		学習用図書等
添削指導	全9回	合格枚数9枚	副教材
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価
			5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	東京書籍インターネット講座 第2編 第2章 現代世界の諸地域 1節 東アジア	1	第1編:現代世界の系統地理的 考察 第1章:自然環境
2	東京書籍インターネット講座 第2編 第2章 現代世界の諸地域 6節 ヨーロッパ	2	第2章:産業と資源
3	東京書籍インターネット講座 第2編 第2章 現代世界の諸地域 8節 アンглоアメリカ	3	第3編:現代世界と日本の国土 像
4		4	第1編:現代世界の系統地理的 考察 第3章:交通・通信、貿易、観光
5		5	第4章:人口、村落・都市

スクーリング内容

第1回～本当に世界1周できるなら～

世界のそれぞれの地域の地理的な特徴を調べながら、世界各地の旅行計画を立てよう！！

第2回～世界を変えるかもしれない？SDGs水切りアクション！！～

SDGsについて、小さな目標に置き換えて、身近なアクションを考えよう！！

試験

添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に、地理探究で学んだ知識及び資料を読み解く力を自らの言葉で解答・説明できるか総合的に評価する。

担当者から履修者へのメッセージ

地理総合で学んだ地理的な見方や考え方を基礎として、世界の現在地を地理的要因から探り、理解することで、未来の世界がどうあるべきかも皆さんが主体的に考えられる授業にしていきたいです。さあ世界を知る旅に出発しよう。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目		担当者	
地理歴史	歴史総合	単位数:2単位	阿曾 栄汰	
教科目標				
歴史の大きな枠組みと流れを、世界と日本の歴史を関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養うことを目標とする。				
通信講座	あり	講座数:全3回	使用媒体	NHK高校講座
教科書	東京書籍 新選歴史総合(歴総701)			
面接指導	1単位時間×1回		学習用図書等	東京書籍動画
添削指導	全6回	合格枚数6枚	副教材	なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価	5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	NHK高校講座第1回 なぜ歴史総合なのか	1	第1章:歴史の扉 第2章:近代化と私たち 1節 2節
		2	第2章:近代化と私たち 3節 4節
2	NHK高校講座第6回 帝国主義の時代	3	第3章:国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 2節
3	NHK高校講座第9回 ソ連の登場とアメリカの繁栄	4	第3章:国際秩序の変化や大衆化と私たち 3節 4節
4		5	第4章:グローバル化と私たち 1節 2節
5		6	第4章:グローバル化と私たち 3節 4節
スクーリング内容			
産業革命後の労働を振り返り、現代の労働との違いを理解する。また、未来の労働を考え、これからの時代を生きるのに必要な力を考える。			
試験			
添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に、歴史総合で学んだ知識を活かし、歴史から現在を考えられているか評価する。			

担当者から履修者へのメッセージ

歴史総合は日本史と世界史が融合された科目です。日本と世界との結びつきが強まる時代「近現代史」を学んでいきましょう。
日本と世界の関係性、繋がりを比較の中で学びを深めていくことが大切です。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目	単位数	担当者
地理歴史	日本史探究	単位数:3単位	阿曾 栄汰
教科目標			
「社会的な事象の歴史的な見方、考え方」を働かせ、我が国の歴史の展開について、世界の歴史や歴史を構成する様々な要素に着目して、総合的に広く深く研究する。			
通信講座	あり	講座数:全3回	使用媒体 東京書籍インターネット講座
教科書	東京書籍 日本史探究(東書 日探701)		
面接指導	1単位時間×2回		学習用図書等 東京書籍動画
添削指導	全9回	合格枚数9枚	副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価 5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立	1	第1編:先史・古代の日本と東アジア 6 第4編:近現代の地域・日本と世界 第1章 第2章 第3章-1節
2	第3編 近世の日本と世界 第3章 近世社会の展開 1節 幕藩体制の確立	2	第2編:中世の日本と世界 第1章 第2章 第3章 7 第3章-2節 3節 4節
3	第4編 近現代の地域・日本と世界 第3章 近現代社会の展開 1節 近現代の制度の導入と新しい国際関係	3	第3章:中世社会の展開 第2節:武家支配の広がりや国際交流 8 第3章-5節 6節 7節 8節
4		4	第3編:近世の日本と世界 第1章 第2章 第3章-1節-3 9 第4章:現代の日本の課題の研究
5		5	第3章-1節-4 2節:近世社会の成熟と幕藩体制の動揺

スクーリング内容

第1回～失敗の日本史①～

第1回・2回の添削指導の内容を基に、歴史上の人物の「失敗」に注目し、今にどう生かせるかを考えよう！！

第2回～失敗の日本史②～

第3回の添削指導の内容を基に、歴史上の人物の「失敗」に注目し、今にどう生かせるかを考えよう！！！！

試験

添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に、日本史探究で学んだ知識を社会的な事象を時期や推移などとの関わりを捉え、類似や差異を理解したり、因果関係などと関連付けて、解答・説明できるか総合的に評価担する。

担当者から履修者へのメッセージ

日本史探究は、「歴史総合」で習得した歴史の学び方を活用して、歴史に関わる諸事情の意味や意義などを「広く」「深く」考察し研究する科目です。
前近代では、近現代につながる各時代の展開や、我が国の伝統や文化への理解を深めよう。近現代では、地域と日本、世界の相互関係を捉え、現代につながる諸課題を考察していきましょう。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目		担当者
地理歴史	世界史探究	単位数:3単位	横山 詞音
教科目標			
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の 有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
通信講座	あり	講座数:全3回	使用媒体 東京書籍インターネット講座
教科書	東京書籍 世界史探究 (東書 世探701)		
面接指導	1単位時間×2回		学習用図書等 東京書籍動画
添削指導	全9回	合格枚数9枚	副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価 5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)	
1	第1編 諸地域の歴史的特質への問い 第2章 西アジアと地中海周辺 1 古代オリエントの統一 2 古代ギリシアとヘレニズム世界	1	序章:世界史へのまなざし 第1編:諸地域の歴史的特質 第1章 第2章	6 第3編:一体化していく世界 第14章 第15章
2	第2編諸地域の交流と再編 第7章 イ スラム世界の拡大と繁栄 1 イスラム世界の発展 2 イスラム文明	2	第1編:諸地域の歴史的特質 第3章 第4章 第5章 第6章	7 第3編:一体化していく世界 第16章 第17章
3	第3編 一体化していく世界 第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世 界分割の進行 4 清の体制転換と近代国家建設の模 索	3	第2編:諸地域の交流と再編 第7章 第8章	8 第3編:一体化していく世界 第18章 第19章
		4	第2編:諸地域の交流と再編 第9章 第10章	9 第4編:グローバル化と地球的 課題 第20章 第21章 第22章
		5	第2編:諸地域の交流と再編 第11章 第12章 第13章	

スクーリング内容

第1回～ローマ帝国の繁栄と衰退の経過(共和政～内乱の1世紀)～

第2回添削指導の内容を基に、ローマ帝国の繁栄の理由を確認し、なぜ、大帝国とよばれるようになったのかを確認しよう！

第2回～ローマ帝国の繁栄と衰退の経過(帝政期のローマ～ローマの平和)～

第2回添削指導の内容を基に、ローマ帝国の繁栄の理由を確認し、なぜ、大帝国とよばれるようになったのかを確認しよう！

試験

添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に、世界史探究で学んだ知識を地域毎だけではなく時間も基軸として、解答・説明できるか総合的に評価する。

担当者から履修者へのメッセージ

歴史総合で学んだ知識を基礎として、世界史を様々な観点から考察・探求し、現代に起こる問題を見つめ直す機会としてください。現在世界が直面している問題をいかに解決するか、未来を考えるために世界の過去、歴史の変遷を学びましょう。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目		担当者
公民	公共	単位数:2単位	横山 詞音
教科目標			
現代社会の諸課題の解決に向けて、自立するとともに他者と協調して、公共的な空間を作る主体としての選択、判断の基準を身につけ、考察することを目標とする。			
通信講座	あり	講座数:全3回	使用媒体 NHK高校講座
教科書	東京書籍 公共(公共701)		
面接指導	1単位時間×1回		学習用図書等 東京書籍動画
添削指導	全6回	合格枚数6枚	副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価 5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	第1回 社会のなかの自己	1	第1部:「公共」のとびら 第1章:公共的な空間をつくる私たち-社会のなかの自己 第2章:公共的な空間における人間としての在り方生き方-共に生きるための倫理
		2	第3章:公共的な空間における基本的原理-私たちの民主的な社会 第2部:自立した主体として社会に参画する私たち 第1章:民主政治と私たち
2	第12回 働くことの意義と職業選択	3	第2章:法の働きと私たち
3	第13回 労働者の権利と雇用・労働問題	4	第3章:経済社会で生きる私たち
		5	第4章:私たちの職業生活 第5章:国際社会のなかで生きる私たちテーマ1テーマ2
		6	第5章:国際社会のなかで生きる私たちテーマ3テーマ4 第3部:持続可能な社会づくりに参画するために
スクーリング内容～君も裁判官に選ばれるかも?(裁判員裁判)			
第3回の添削指導の内容を基に、裁判員裁判を体験し、実際に選ばれたときにどのような形で裁判が進んでいくのかを体験しよう!			
試験			
添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に、望ましい社会のあり方をみんなで考える空間「公共的な空間」を基軸として、説明・解答できるかを総合的に評価する。			

担当者から履修者へのメッセージ

「公共」はこれからの社会で生きていくために必要なことを学ぶ科目です。すべての人々が希望をもって安心して暮らせる社会をつくるために、私たちに何ができるかという視点にたち考えてもらいます。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目		担当者	
公民	倫理	単位数:2単位	阿曾 栄汰	
教科目標				
・人生観や世界観などに関する知的蓄積の豊富さを体感する。 ・倫理的課題の存在に気づき、それらを自分にかかわることとして見るができるようになる。 ・物事を多角的に見る習慣を培う。				
通信講座	あり	講座数:全3回	使用媒体	NHK高校講座
教科書	東京書籍 倫理			
面接指導	1単位時間×1回		学習用図書等	NHK高校講座 動画教材
添削指導	全6回	合格枚数6枚	副教材	なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価	5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	第4回 哲学すること～旅立ちの準備～	1	第1編:現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 第1章:人間の心のあり方 第2章:さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ 1節 2節
		2	第2章:さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ 3節 4節 5節 6節 7節 8節
2	第5回 ソクラテス～哲学の出発点～	3	第3章:さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ 1節 2節 3節 4節 5節
3	第9回 旧約聖書の世界観～唯一なる神との出会い～	4	第3章:さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ 6節 7節
4		5	第4章:国際社会に生きる日本人としての自覚
5		6	第2編:現代の諸課題と倫理

スクーリング内容

第1回の添削指導の内容を基に、自己理解と他者理解をしよう！！様々な視点から人間という存在について理解を深め、自分自身を客観的に見つめなおしながら、いま・ここを他者とともに生きる自己の課題について考察しよう。

試験

複数提示する論述問題からひとつを選び、論述を行う。教科書内容理解に基づき、自分の思いや考えを論理的に表現することができるかを評価する。また、知識や技能を問う問題も設定する。

担当者から履修者へのメッセージ

倫理においてみなさんは、様々な時代の色々な人の考え方や倫理的問題に触れるでしょう。倫理的な問題は、試験に通れば解決するようなものではなく、生きている限り誰にでも関係するものです。倫理を学ぶことの中で、みなさんが人生の様々な問題に立ち向かう勇気が育まれることを願っています。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目		担当者	
公民	政治・経済	単位数:2単位	横山 詞音	
教科目標				
広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともにそれらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
通信講座	あり	講座数:全3回	使用媒体	東京書籍インターネット講座
教科書	東京書籍 政治・経済(政経701)			
面接指導	1単位時間×1回		学習用図書等	東京書籍動画
添削指導	全6回	合格枚数6枚	副教材	なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評定	5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	第1編 第1章 2節 1日本国憲法の制定と基本原理	1	第1編:現代日本の政治と経済 第1章:現代日本の政治 1節 2節
		2	第1章:現代日本の政治 3節 4節
2	第2編 第1章 1節 1国際政治の特質:国際社会と国際法	3	第2章:現代日本の経済 1節 2節
3	第2編 第3章 1グローバル化にともなう社会変容 6 持続可能な社会の実現	4	第2章:現代日本の経済 3節 4節
		5	第3章:現代日本の諸課題 第2編:グローバル化する国際政治 第1章:現代の国際政治
		6	第2章:現代の国際政治 第3章:国際社会の諸課題

スクーリング内容～選挙を体験しよう～

第1回、第2回の添削指導の内容を基に、模擬選挙を行おう！関心を1票に変える活動を通じて、政治参加のきっかけをつかもう！！

試験

添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に、政治経済で学んだ知識を「社会の在り方についての見方・考え方」という観点を中心に、自らの言葉で説明・回答できるかを総合的に評価する。

担当者から履修者へのメッセージ

「政治・経済」は「公共」の学習のうえに成り立つ科目ですので、学習全体を通して「公共」との関連を図りましょう。
第1・2編ともに、第1・2章は概念や理論を学び、第3章では、諸課題を探究していく思考を養っていきましょう。

教科	科目		担当者
数学	数学 I	単位数:3単位	川瀬弘章
教科目標			
本科目では数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析の単元を扱う。基礎的な知識を習得、理解をすることで、事象を数学的に考察する能力を培う。またこれらの知識を通して数学のよさを認識できるようにするとともに、数学を活用しようとする態度を養う。			
通信講座	あり	講座数:全4回	使用媒体 東京書籍
教科書	数研出版 新編数学 I (数 I 714)		
面接指導	1単位時間×2回		学習用図書 自校作成の図書教材
添削指導	1単位×3回		副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価 5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	2章 1節: 2次関数とそのグラフ (関数)	1	1章 1節:文字と式	5	2章 2節:2次関数の値の変化
2	2章 1節: 2次関数とそのグラフ (1次関数とそのグラフ)	2	1章 2節:実数	6	3章 1節:鋭角の三角比
3	2章 1節: 2次関数とそのグラフ (2次関数とそのグラフ)	3	1章 3節:方程式と不等式	7	3章 2節:三角比の応用
4	2章 1節: 2次関数とそのグラフ (グラフの平行移動)	4	2章 1節:2次関数とそのグラフ	8	4章 1節:データの分析
				9	5章 1節:集合と論証

スクーリング内容

第1回

三角比の応用を実践的な問題を用いて説明する。三角比の意味と座標平面への拡張について確認し、とくに正弦定理・余弦定理の応用と、空間図形への応用を解説する。

第2回

データの分析について、用語の意味と計算方法の確認をする。実際のデータ等を用いて活用例を紹介、分析をする。

試験

添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に、数学 I で学んだ知識を活用し、基礎的な公式の活用や、発展的な問題への活用の状況を評価する。

担当者から履修者へのメッセージ

数学 I で扱う分野は、数学に留まらず様々な分野の基礎となるものです。また生活に根付いたものもたくさんありますので、自分にどう役立つか、学ぶことで何が得られるのかを考えながら学習を進めていきましょう。

教科	科目		担当者
数学	数学Ⅱ	単位数:4単位	川瀬弘章
教科目標			
本科目では方程式, 三角関数, 微分法・積分法を扱う。等式や不等式が成立することを論理的に考察したり, 図形や数学的事象を明瞭かつ的確に表現する力を養う。さらにこれらの知識を通して数学のよさを認識し, 数学を活用しようとする態度や数学的論拠に基づいて柔軟に考え判断しようとする態度を養う。			
通信講座	あり	講座数:全2回	使用媒体 東京書籍
教科書	東京書籍 数学II Essence(数II716)		
面接指導	1単位時間×2回		学習用図書 自校作成の図書教材
添削指導	1単位×3回		副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評定 5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	1章 1節:式の計算	1	1章 1節:式の計算 1章 2節:2次方程式	7	3章 2節:加法定理
2	1章 2節:2次方程式	2	1章 3節:高次方程式 1章 4節:式と証明	8	4章 1節:指数関数
		3	3章 1節:座標と直線の方程式	9	4章 2節:対数関数
		4	3章 2節:円の方程式	10	5章 1節:微分係数と導関数
		5	3章 3節:軌跡と領域	11	5章 2節:導関数の応用
		6	3章 1節:三角関数	12	5章 3節:積分

スクーリング内容

第1回

三角関数について定義の確認と, 三角比からの拡張した箇所について解説する。また加法定理および各公式について具体例を用いて活用方法を解説する。

第2回

微分法と積分法について, 定義と用語の意味の確認をする。また具体的な問題を用いて計算方法や問題の分析の仕方を解説する。

試験

添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に, 数学Ⅱで学んだ知識を活用し, 基礎的な公式の活用や, 発展的な問題への活用の状況を評価する。

担当者から履修者へのメッセージ

数学Ⅱでは, これまでの学習よりもさらに深く関数や図形を扱っていきます。学習した内容を自分のものにできるよう積極的な学習姿勢を保っていきましょう。

教科	科目		担当者
数学	数学Ⅲ	単位数:3単位	川瀬弘章
教科目標			
本科目では極限、微分法・積分法を扱う。これらの概念や原理を体系的に理解し、事象を数学的に解釈・表現する技能を身に付ける。極限や関数の変化に注目し、数学的事象をより深く考察したり、問題を解決する過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。さらにこれらの知識を通して数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度や数学的論拠に基づいて柔軟に考え判断しようとする態度を養う。			
通信講座	あり	講座数:全1回	使用媒体 東京書籍
教科書	東京書籍 数学III Standard(数III702)		
面接指導	1単位時間×2回		学習用図書 自校作成の図書教材
添削指導	1単位×3回		副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価 5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	1章 1節 関数	1	1章 1節:関数	5	2章 2節:いろいろな関数の導関数
		2	1章 2節:数列の極限	6	3章 1節:関数の増減
		3	1章 3節:関数の極限	7	3章 2節:微分のいろいろな応用
		4	2章 1節 微分法	8	4章 1節:不定積分
				9	4章 2節:定積分

スクーリング内容

第1回

数列・関数それぞれの極限について、基本的な考え方や意味を確認する。具体的な計算を行い、収束や発散など、様々なふるまいをする関数や数列を考察する。

第2回

微分係数・導関数の定義や用語の意味を改めて解説する。数Ⅱの内容を踏まえ、より複雑な関数における導関数から得られる情報や応用例などを、具体的な問題を用いて紹介・解説する。

試験

添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に、数学Ⅲで学んだ知識を活用し、基礎的な公式の活用や、発展的な問題への活用の状況を評価する。

担当者から履修者へのメッセージ

数学Ⅲでは主に数学Ⅱの知識を踏まえた、さらに発展的な内容を扱います。とくに微分積分学が主な内容となりますが、実は数学の歴史の中でもとても重要な分野であり、現代の数学の発展には欠かせないものとなっています。そういった数学そのものの歴史や魅力をぜひ楽しみながら学習を進めてください。

教科	科目		担当者
数学	数学A	単位数:2単位	川瀬弘章
教科目標			
本科目では確率, 図形の性質, 数学と人間の活動を扱う。確率や図形といった事象を数学的に捉え, 明瞭かつ的確に表現する力を養う。また基礎的な知識の習得および技能の習熟を図り, 考察や評価をしようとする態度を養う。			
通信講座	あり	講座数:全6回	使用媒体 東京書籍
教科書	数研出版 新編数学A(数A714)		
面接指導	1単位時間×1回		学習用図書 自校作成の図書教材
添削指導	1単位×3回		副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価 5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	1章 1節:場合の数(個数の数え方)	1	1章 1節:場合の数
2	1章 1節:場合の数(和の法則と席の法則)	2	1章 2節:確率
3	1章 1節:場合の数(順列)	3	2章 1節:平面図形の基礎
4	1章 1節:場合の数(順列の利用)	4	2章 2節:三角形の性質
5	1章 1節:場合の数(色々な順列)	5	2章 3節:円の性質
6	1章 1節:場合の数(組合せ)	6	2章 4節:空間図形

スクーリング内容

第1回

場合の数および確率の用語・基礎知識の確認と, 実践的な問題演習を行う。とくに, 和事象の意味と活用方法などを重点的に指導する。また余事象においてその仕組みを理解するため身の回りの事象例に取り扱う。

試験

添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に, 数学Aで学んだ知識を活用し, 基礎的な公式の活用や, 発展的な問題への活用の状況を評価する。

担当者から履修者へのメッセージ

数学Aでは, 今まで当たり前に扱っていた「数」や「図形」とは何かを改めて考えていきます。数学的に見直し, 分析することで身の回りのものへの見方や視野が広がる感覚を大切に学習していきましょう。

教科	科目		担当者
数学	数学B	単位数:2単位	川瀬弘章
教科目標			
本科目では数列, 確率統計を扱う。数列の変化に着目し規則を推測・考察する力や, 確率分布や標本分布の性質に着目し母集団の傾向を推測し判断する力, 結果を批判的に考察したりする力を養う。また日常や社会の事象を数学的に分析し, 問題を解決する過程や結果を考察する力を養う。さらに数学と社会生活の関わりについて認識を深め, 数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。			
通信講座	あり	講座数:全2回	使用媒体 東京書籍
教科書	東京書籍 数学B Essence(数B703)		
面接指導	1単位時間×1回		学習用図書 自校作成の図書教材
添削指導	1単位×3回		副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価 5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	1章 数列 1節 数列	1	1章 1節:数列
2	1章 数列 1節 いろいろな数列	2	1章 2節 いろいろな数列
		3	1章 3節 漸化式と数学的帰納法
		4	2章 1節 確率分布
		5	2章 2節 統計的な推測
		6	3章 1節 数学と社会生活

スクーリング内容

第1回

数列および数学的帰納法について解説する。数列の一般項や和の求め方を確認し, 数学的帰納法の意味と活用例を具体的な問題を用いて紹介する。

試験

添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に, 数学Bで学んだ知識を活用し, 基礎的な公式の活用や, 発展的な問題への活用の状況を評価する。

担当者から履修者へのメッセージ

数学Bで扱う内容は, どの科目よりも実生活に反映しやすいものです。テレビやSNSなど様々なメディアで統計データなどが発表されますが, それらをより明瞭に理解し正確に受け取るためにも, 丁寧な学習を心がけましょう。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目		担当者
理科	科学と人間生活	単位数:2単位	安賀・臼井・若林
教科目標			
・自然現象や科学技術と人間生活の関わりについて、身近な現象や観察・実験などを通して理解する。 ・科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。			
通信講座	あり	講座数:全10回	使用媒体 NHK高校講座授業動画
教科書	東京書籍 科学と人間生活 (科人701)		
面接指導	1単位時間×4回		学習用図書 自校作成の図書教材
添削指導	全6回	合格枚数6枚	副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価 5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容) ※1回は20分間		回	添削指導(単元・内容)
1	4編1章 太陽と地球 (太陽と月)	6 3編2章 熱の性質とその利用(比熱)	1	4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球(P158～179) 2章 自然景観と自然災害(P180～207)
2	4編1章 太陽と地球 (気象)	7 3編2章 熱の性質とその利用(エネルギー)	2	2編 物質の科学 1章 材料とその再利用(P66～93)
3	2編1章 材料とその再利用 (金属)	8 1編1章 微生物とその利用 (発酵)	3	2編 物質の科学 2章 衣料と食品(P94～115)
4	2編2章 衣料と食品 (衣料)	9 1編2章 ヒトの生命現象 (視覚)	4	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用(P116～137)
5	2編2章 衣料と食品 (食品)	10 1編2章 ヒトの生命現象 (血糖)	5	3編 2章 熱の性質とその利用(P138～157)
			6	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用(P14～37) 2章 ヒトの生命現象(P38～65)

スクーリング内容

第1回

3編2章 熱の性質とその利用

熱の性質とその利用に関する知識や技能を習得し、討論や発表の能力を高める。

第2回

2編1章 材料とその再利用

プラスチックを通して、材料とその利用などに関する知識や技能を習得し、討論や発表の能力を高める。

第3回

1編1章

さまざまな微生物に関する知識や技能を習得し、討論や発表の能力を高める。

第4回

4編2章 自然景観と自然災害

自然景観・災害について、過去の事例やニュースなどから自然災害の危険性について知識や技能を習得する。

試験

履修した全分野から、ひろく科学的な知識等を問う内容、および、観察・実験の技能を問う内容について出題する。

担当者から履修者へのメッセージ

この科目では理科の多くの分野を網羅し、現在の自然環境や社会との関わりを広く学習します。特に地球規模の環境問題や、エネルギーに関する内容は、これからの人類のみならず、すべての生物にとってとても大切なものです。興味や関心を持った分野があれば、ぜひ深く探究してみてください。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

024年度予定表		科目		担当者	
教科	理科	物理基礎	単位数:2単位	安賀・臼井・若林	
教科目標					
・物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高める。 ・目的意識をもって観察, 実験などを行い, 物理学的に探究する能力と態度を育てる。 ・物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し, 科学的な見方や考え方を養う。					
通信講座	あり	講座数:全10回	使用媒体	東京書籍授業動画	
教科書	東京書籍 新編物理基礎 (物基702)				
面接指導	1単位時間×4回		学習用図書	自校作成の図書教材	
添削指導	全6回	合格枚数6枚	副教材	なし	
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評定	5段階評価	
回	通信講座(単元・学習内容) ※1回は20分間			回	添削指導(単元・内容)
1	2編1章 熱 (熱量保存)	6	2編2章 波 (波の反射)	1	1編 物体の運動とエネルギー 1章 直線運動の世界(P10～33)
2	2編2章 熱 (熱と仕事)	7	2編2章 波 (音波と固有振動)	2	2章 力と運動の法則(P34～73)
3	2編2章 熱 (熱機関)	8	2編3章 電気(直列・並列回路)	3	3章 力学的エネルギー(P74～91)
4	2編2章 波 (波の表し方)	9	2編3章 電気(磁場と発電)	4	2編 さまざまな物理現象とエネルギー 1章 熱(P94～107)
5	2編2章 波 (横波・縦波)	10	2編3章 電気(直流・交流)	5	2章 波(P108～133)
				6	3章 電気 4章 エネルギーとその利用(P134～165)
スクーリング内容					
第1回					
1編1章 直線運動の世界 等速直線運動などに関する実験や実習を通して知識や技能を習得し, 討論や発表の能力を高める。					
第2回					
1編1章 直線運動の世界 自由落下などに関する実験や実習を通して知識や技能を習得し, 討論や発表の能力を高める。					
第3回					
1編2章 力と運動の法則 浮力や摩擦力などのいろいろな力に関する実験や実習を通して知識や技能を習得し, 討論や発表の能力を高める。					
第4回					
2編2章 波 波に関する実験や実習を通して知識や技能を習得し, 討論や発表の能力を高める。					
試験					
履修内容の中から, おもに力学分野(通信講座1回～6回)に関する内容, および, 科学的な知識や実験の技能を問う内容等について出題する。					

担当者から履修者へのメッセージ

自然界にはさまざまな物理現象がみられます。そのいくつかは中学校までに履修しましたが, ここでは原理や数理的な裏付けをもとに一段上の理解を目指します。本校で一緒に物理学の入り口を探究しましょう。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科		科目		担当者	
理科		物理		単位数:4単位	
				安賀・臼井・若林	
教科目標					
・物理的な事物・現象に対する探究心を高める。 ・目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てる。 ・物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。					
通信講座	あり	講座数:全10回		使用媒体	東京書籍授業動画
教科書	東京書籍 物理 (物理701)				
面接指導	1単位時間×7回			学習用図書	自校作成の図書教材
添削指導	全12回		合格枚数12枚	副教材	なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割		評定	5段階評価
回	講座(単元・学習内容) ※1回は45分間		回	添削指導(単元・内容)	
1	1編2章 剛体のつり合い	6	2編3章 光	1	1編 さまざまな運動 1章 平面内の運動 2章 剛体のつり合い(P8～42)
2	1編3章 運動量 (反発係数・運動量保	7	3編3章 電流と磁場	2	3章 運動量 4章 円運動(P43～84)
3	1編6章 万有引力	8	3編4章 電磁誘導と電磁波	3	5章 単振動 6章 万有引力(P85～120)
4	2編1章 波の伝わり方	9	4編1章 電子と光	4	7章 気体分子の運動(P121～158)
5	2編2章 音	10	4編2章 原子と原子核	5	2編 波 1章 波の伝わり方 2章 音(P159～188)
			6	3章 光(P189～230)	12
				2章 原子と原子核 終章(P395～457)	
スクーリング内容					
第1回		第2回		第3回	
1編3章 運動量 力積と運動量に関する実験や実習を通して知識や技能を習得し、討論や発表の能力を高める。		1編4章 円運動 円運動に関する実験や実習を通して知識や技能を習得し、討論や発表の能力を高める。		1編5章 単振動 単振動に関する実験や実習を通して知識や技能を習得し、討論や発表の能力を高める。	
第5回		第6回		第7回	
2編2章 音 音に関する実験や実習を通して知識や技能を習得し、討論や発表の能力を高める。		2編3章 光 光に関する実験や実習を通して知識や技能を習得し、討論や発表の能力を高める。		4編2章 原子と原子核 原子と原子核に関する実験や実習を通して知識や技能を習得し、討論や発表の能力を高める。	
試験					
履修内容の中から、力学および波動、電磁気学分野に関する内容、および、科学的な知識や実験の技能を問う内容等について出題する。					

担当者から履修者へのメッセージ

物理基礎のさらに一段上の物理学を学びます。ここでは力学、波動、電磁気学、熱学をはじめ原子、素粒子まで展開します。物理学の基礎を学び自然界の物理現象を解き明かし、物理学が築く未来について一緒に探究しましょう。

2024年度学習予定表			瑞穂MSC高等学校	
教科	科目		担当者	
理科	化学基礎	単位数：2単位	安賀・臼井・若林	
教科目標				
(1)日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解する。 (2)科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 (3)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (4)物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
通信講座	あり	講座数:全10回	使用媒体	東京書籍授業動画
教科書	東京書籍 新編化学基礎(化基702)			
面接指導	1単位時間×4回		学習用図書	自校作成の図書教材
添削指導	全6回	合格枚数6枚	副教材	なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価	5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容) ※1回は20分間		回	添削指導(単元・内容)	
1	1編2章 物質の成分と構成元素 (物質の成分)	6	3編2章 酸と塩基 (性質)	1	1編 1章 化学とは何か 2章 物質の成分と構成元素
2	1編2章 物質の成分と構成元素 (物質の三態)	7	3編2章 酸と塩基 (価数、強弱)	2	2編 物質の構成 1章 原子の構造と元素の周期表
3	2編2章 化学結合(イオン結合)	8	3編2章 酸と塩基 (pH)	3	2編 物質の構成 2章 化学結合
4	2編2章 化学結合(共有結合)	9	3編2章 酸と塩基 (中和反応)	4	3編 物質の変化 1章 物質量と化学反応式
5	2編2章 化学結合と物質の分類	10	3編3章 酸化還元反応	5	3編 物質の変化 2章 酸と塩基
			6	3編 物質の変化 3章 酸化還元反応	

スクーリング内容	
第1回～物質の成分や構成元素を知ろう！～	
1編2章 物質の成分と構成元素 物質の成分、構成元素、原子の構造に関する知識や技能を習得し、議論したり発表したりする能力を高める。	
第2回～原子の構造と元素の周期表を知ろう！～	
2編1章 原子の構造と元素の周期表 構成元素、原子の構造、元素の周期表に関する知識や技能を習得し、議論したり発表したりする能力を高める。	
第3回～物質量と化学式について～	
3編1章 物質量と化学反応式 原子量・分子量・式量に関する知識や技能を習得する。	
第4回～酸と塩基について～	
3編2章 酸と塩基 酸と塩基に関する実験や実習を通して知識や技能を習得し、議論したり発表したりする能力を高める。	
試験	
履修した内容の中から、化学的知識等を問う内容、通信講座に関する内容および観察・実験の技能を問う内容等について出題する。	

担当者から履修者へのメッセージ
物質とその変化に関わる基礎的な内容を学び、学習して得られた知識を活用して、日常生活や社会との関連を図りながら、化学が身のまわりの生活の中で利用されていることや、化学が科学技術に果たす役割などについて認識を深めましょう。本校で一緒に化学的に探究する力を身に付けましょう。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目	担当者
理科	化学	安賀・臼井・若林
目標		
(1)化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
通信講座	あり	講座数:全10回
教科書	東京書籍 化学 理論編(化学701) 物質編(化学702)	
面接指導	1単位時間×7回	学習用図書
添削指導	全12回	合格枚数12枚
期末試験	あり	期末試験評価割合2割
		副教材
		なし
		評定
		5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)※1コマ45分			回	添削指導(単元・内容)		回	添削指導(単元・内容)	
1	1編3章 溶液の性質	6	4編5章 金属の分類	1	1編 物質の状態 1章 物質の状態2章 気体の性質	7	4編 無機物質 1章 周期表と元素 2 章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物		
2	1編4章 固体の構造	7	5編2章 炭化水素	2	1編 物質の状態 3章 溶液の性質 4 章 固体の構造	8	4編 無機物質 4章 遷移元素の単体 と化合物 5章 金属イオンの分離と 確認		
3	2編2章 電池と電気分解	8	5編4章 芳香族化合物	3	2編 化学反応とエネルギー 1章 化学 反応と熱・光	9	5編 有機化合物 1章 有機化合物の 特徴と構造 2章 炭化水素		
4	3編3章 水溶液中の化学平衡	9	6編2章 天然高分子化合物	4	2編 化学反応とエネルギー 2章 電池 と電気分解	10	5編 有機化合物 3章 アルコールと 関連化合物		
5	4編3章 非金属元素の 単体と化合物	10	6編3章 合成高分子化合物	5	3編 化学反応の速さと平衡 1章 化 学反応の速さ 2章 化学平衡 1節 可 逆反応と化学平衡	11	5編 有機化合物 4章 芳香族化合物 6編 高分子化合物 1章 高分子化合 物とは何か		
				6	3編 化学反応の速さと平衡 2章 化 学平衡 2節 平衡の移動 3章 水溶液中の化学平衡	12	6編 高分子化合物 2章 天然高分子 化合物 3章 合成高分子化合物 7編 化学が果たす役割		

スクーリング内容

第1回～気体の性質について知ろう！～

1編2章 気体の性質(気体の状態方程式)

気体に関する実験や実習を通して知識や技能を習得し、議論したり発表したりする能力を高める。

第2回～溶液について知ろう～

1編3章 溶液の性質

溶液の性質に関する実験や実習を通して知識や技能を習得し、議論したり発表したりする能力を高める。

第3回～反応とエンタルピーについて知ろう！～

2編1章 化学反応と熱・光

化学反応とエンタルピー変化に関する実験や実習を通して知識や技能を習得し、議論したり発表したりする能力を高める。

第4回～化学反応の速さ～

3編1章 化学反応の速さ

反応速度に関する実験や実習を通して知識や技能を習得し、議論したり発表したりする能力を高める。

第5回～化学平衡～

3編2章 化学平衡

化学平衡に関する実験や実習を通して知識や技能を習得し、議論したり発表したりする能力を高める。

第6回～炭化水素について知ろう！～

5編2章 炭化水素

炭化水素に関する実験や実習を通して知識や技能を習得し、議論したり発表したりする能力を高める。

第7回～官能基について知ろう！～

5編3章 アルコールと関連化合物

官能基に関する実験や実習を通して知識や技能を習得し、議論したり発表したりする能力を高める。

試験

履修した内容の中から、化学的知識等を問う内容、通信講座に関する内容および観察・実験の技能を問う内容等について出題する。

担当者から履修者へのメッセージ

化学基礎から更に一段進んだ物質とその変化に関わる内容を学び、学習して得られた知識を活用して、日常生活や社会との関連を図りながら、化学が身のまわりの生活の中で利用されていることや、化学が科学技術に果たす役割などについて認識を深めましょう。本校で一緒に化学的に探究する力を身に付けましょう。

2024年度学習予定表			瑞穂MSC高等学校	
教科	科目		担当者	
理科	生物基礎	単位数:2単位	安賀・臼井・若林	
教科目標				
・ヒトの体のしくみや身近な生物の生物現象に関心を持つ。 ・見通しをもって観察,実験などを行い、基本的な技術を身に付けるとに、科学的に探究する力を養う。 ・生物や生物現象を理解するとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				
通信講座	あり	講座数: 全10回	使用媒体	東京書籍授業動画
教科書	東京書籍 新編生物基礎(生基702)			
面接指導	1単位時間×4回		学習用図書	自校作成の図書教材
添削指導	全6回	合格枚数6枚	副教材	なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価	5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容) ※1回は20分間		回	添削指導(単元・内容)
1	2編1章 遺伝情報とDNA (DNA)	6	3編1章 ヒトの体を調節する仕組み (体内環境・循環)	1 2編 遺伝子とそのはたらき
2	1編1章 生物の多様性と共通性	7	3編2章 免疫のはたらき (疾患)	2 1編 生物の特徴
3	1編2章 生物とエネルギー (ATP)	8	4編1章 植生と遷移 (バイオーム)	3 3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ
4	1編2章 生物とエネルギー (酵素)	9	4編2章 生態系と生物の多様性 (食物連鎖)	4 3編 ヒトの体の調節 2章 免疫のはたらき
5	1編2章 生物とエネルギー (光合成・呼吸)	10	4編2章 生態系と生物の多様性 (生態系の保全)	5 4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移
			6	4編 生物の多様性と生態系 2章 生態系と生物の多様性

第1回
3編2章 免疫のはたらき 免疫に関する知識や技能を習得し、討論や発表の能力を高める。
第2回
3編1章 ヒトの体を調節する仕組み ヒトの体についての知識や技能を習得し、討論や発表の能力を高める。
第3回
2編1章 遺伝情報とDNA 2章 遺伝情報とタンパク質の合成 遺伝情報とDNAに関する知識や技能を習得し、討論や発表の能力を高める。
第4回
1編2章 酵素のはたらき 酵素や乳酸菌に関する知識や技能を習得し、討論や発表の能力を高める。
試験
履修した全分野から、ひろく科学的な知識等を問う内容、および、観察・実験の技能を問う内容について出題する。

担当者から履修者へのメッセージ
高等学校の生物の学習では、多様な生物や生物現象をそれらの共通性に着目して探究していきます。「生物基礎」では特に、遺伝子、ヒトの体のしくみ、生態系という、身近で大切な私たち自身の健康や自然環境とのかかわりを探究しますので、興味を持って取り組んでください。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目		担当者
理科	生物	単位数:4単位	安賀・臼井・若林
教科目標			
・生物と生物現象に対する関心を高める。 ・見通しをもって観察、実験などを行い、基本的な技術を身に付けるとともに、科学的に探究する力を養う。 ・生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。			
通信講座	あり	講座数:全10回	使用媒体 東京書籍授業動画
教科書	東京書籍 生物(生物701)		
面接指導	1単位時間×7回	学習用図書	自校作成の図書教材
添削指導	全12回	合格枚数12枚	副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評定 5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容) ※1回は45分間		回	添削指導(単元・内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	1編1章 生命の起源と細胞の進化 (生命の誕生) 1編3章 生物の系統と進化(系統分類)	6 4編1章 動物の刺激の受容と反応 (後半) 4編2章 動物の行動	1	1編1章 生命の起源と細胞の進化 2章 遺伝子の変化と進化のしくみ	7	3編2章 発生と遺伝子発現
2	2編1章 細胞と物質	7 4編3章 植物の環境応答(前半)	2	1編2章 遺伝子の変化と進化のしくみ 2節～5節	8	3編3章 遺伝子を扱う技術
3	3編1章 遺伝情報とその発現	8 4編3章 植物の環境応答(後半)	3	1編3章 生物の系統と進化	9	4編1章 動物の刺激の受容と反応 2章 動物の行動
4	3編2章 発生と遺伝子発現	9 5編1章 個体群と生物群集	4	2編1章 細胞と物質	10	4編3章 植物の環境応答
5	4編1章 動物の刺激の受容と反応 (前半)	10 5編3章 生態系と人間生活	5	2編2章 代謝とエネルギー	11	5編1章 個体群と生物群集
			6	3編1章 遺伝情報とその発現	12	5編2章 生態系の物質生産と物質循環 3章 生態系と人間生活

スクーリング内容	
第1回～遺伝～	
1編2章 遺伝子の変化と進化の仕組み 身近にある食べ物等で遺伝の法則について知識や技能を習得し、討論や発表の能力を高める。	
第2回～遺伝情報～	
3編1章 遺伝情報とその発現 DNAについて知識を習得し、ワクチンやウイルスなど身近な医療に関連する内容について知る。	
第3回～遺伝情報～	
3編1章 遺伝情報とその発現 RNAについて知識を習得し、ワクチンやウイルスなど身近な医療に関連する内容について知る。	
第4回～遺伝子を扱う技術～	
3編2章 発生と遺伝子発現 3章 遺伝子を扱う技術 遺伝子組み換え食品やiPS細胞・ES細胞などの知識や技能を習得し、討論や発表の能力を高める。	
第5回～代謝～	
2編2章 代謝とエネルギー 代謝とエネルギーについて知識を習得する。	
第6回～植物の環境応答～	
4編3章 植物の環境応答 身近な野菜を用いた実験から、植物の環境応答に関する知識を習得する。	
第7回～生態と環境～	
5編2章 生態系の物質生産と物質循環 石垣島や各地域を例に、生態系や外来種が与える影響について考え、討論や発表の能力を高める。	
試験	
履修した全分野から、ひろく科学的な知識等を問う内容、および、観察・実験の技能を問う内容について出題する。	
担当者から履修者へのメッセージ	
「生物」では、まず進化の視点で多様性を探究します。次に「生物基礎」で学んだ共通性をより深く多岐にわたって学習し、更には、近年の生命科学の急速な進歩を学ぶ等、膨大で幅広い領域を探究します。少しでも多くの分野に興味を持ち、生物と生物現象のおもしろさを楽しんでください。	

2024年度学習予定表				瑞穂MSC高等学校	
教科		科目		担当者	
保健体育		体育 1	単位数：2単位	辻 建	
教科目標					
1. スポーツの楽しさを感じ、心と体のリラクセーションを図る。 2. 体づくり運動や種々のスポーツを通じ、体力の向上を図る。 3. スポーツを通して友人との交流を図るとともに、協調性を養う。					
通信講座	あり	講座数：全30回	使用媒体	NHK高校講座	
教科書	大修館書店 現代高等保健体育（保体701）				
面接指導	1単位時間×4回		学習用図書	NHK高校講座 動画教材	
添削指導	全2回	合格枚数2枚	副教材	なし	
期末試験	あり	期末試験割合4割	評定	5段階評点	
回	通信講座 (単元・学習内容)	回	通信講座 (単元・学習内容)	回	通信講座 (単元・学習内容)
1	スポーツの始まりと変遷	11	経済波及効果	21	陸上競技 長距離走②
2	世界の民族スポーツについて調べてみよう	12	スポーツの高潔さとドーピング	22	陸上競技 走り幅跳び①
3	文化としてのスポーツ	13	スポーツの価値について考えてみよう	23	陸上競技 走り幅跳び②
4	スポーツの文化的内容	14	なぜドーピングは許されないのか	24	水泳競技 クロール①
5	日本生まれのスポーツ	15	スポーツと環境	25	水泳競技 クロール②
6	競技スポーツにおける競争の意味	16	スポーツとまちづくり	26	水泳競技 平泳ぎ①
7	オリンピックとパラリンピックの意義	17	陸上競技 短距離走	27	水泳競技 平泳ぎ②
8	オリンピックの課題	18	陸上競技 リレー①	28	水泳競技 背泳ぎ①
9	パラリンピックの課題	19	陸上競技 リレー②	29	水泳競技 背泳ぎ②
10	スポーツが経済に及ぼす効果	20	陸上競技 長距離走①	30	水泳競技 バタフライ
添削指導（単元・内容）					
1	【体育理論】①スポーツの発祥と発展 1 スポーツの始まりと変遷 2 文化としてのスポーツ 3 オリンピックとパラリンピックの意義				
2	【体育理論】 4 スポーツが経済に及ぼす効果 5 スポーツの高潔さとドーピング 6 スポーツと環境				

スクーリング内容
第1回
体づくり運動 球技（ネット型・卓球、バドミントン）
第2回
体づくり運動 球技（ネット型・卓球、バドミントン）
第3回
体づくり運動 球技（ゴール型・バスケットボール、サッカー）
第4回
体づくり運動 球技（ゴール型・バスケットボール、サッカー）
試験
添削指導・スクーリング・通信講座での内容を元に、体育で学んだ知識を活用し、スポーツの歴史や特性、現在のスポーツを取り巻く諸問題等を理解し、自らの生活に活かし健康的な生活を送っていける能力が育めているかを評価する。
担当者から履修者へのメッセージ
体育は皆さんの心身の健康に関して実技を交えて学ぶ科目です。健康に生活していくために必要な内容がたくさんありますのでしっかり学習していきましょう。

2024年度学習予定表				瑞穂MSC高等学校	
教科		科目			担当者
保健体育		体育 2		単位数：3 単位	大竹 千紘
教科目標					
1. スポーツの楽しさを感じ、心と体のリラクゼーションを図る。 2. 体づくり運動や種々のスポーツを通じ、体力の向上を図る。 3. スポーツを通して友人との交流を図るとともに、協調性を養う。					
通信講座	あり	講座数：全45回		使用媒体	NHK高校講座
教科書	大修館書店 現代高等保健体育（保体701）				
面接指導	1単位時間×6回			学習用図書	NHK高校講座 動画教材
添削指導	全3回	合格枚数3枚		副教材	なし
期末試験	あり	期末試験割合4割		評定	5段階評点
回	通信講座 (単元・学習内容)	回	通信講座 (単元・学習内容)	回	通信講座 (単元・学習内容)
1	スポーツにおける技能と体力	16	ストレッチングと体の関節	31	ハンドボール シュート①
2	スポーツにおける技術と戦術	17	運動やスポーツでの安全の確保	32	ハンドボール シュート②
3	個人・グループ・チームの戦術	18	スポーツによるさまざまなリスクを考えてみよう	33	ハンドボール パスキャッチ
4	スポーツルールはなぜ変わるのか考えてみよう	19	スポーツ外傷・障害とその原因	34	ハンドボール パス
5	スポーツとメディアの関係性	20	健康づくりのために運動を実践してみよう	35	ハンドボール シュートブロック
6	技能の上達過程と練習	21	器械運動 マット運動①	36	サッカー インサイドキック インステップキック
7	技能の上達過程（テニスのフォアハンドストロークの例）	22	器械運動 マット運動②	37	サッカー ドリブル①
8	フィードバックの活用方法（バスケットボールのシュートの例）	23	器械運動 鉄棒運動	38	サッカー ドリブル②
9	球技における戦術の特徴を比較してみよう	24	器械運動 平均台運動	39	サッカー トラッピング①
10	ゲームにおける戦術的判断	25	器械運動 跳び箱運動	40	サッカー トラッピング②
11	効果的な動きのメカニズム	26	バスケットボール クイックストップ スライドストップ	41	ラグビー キャッチボール
12	ATP合成のしくみ	27	バスケットボール ドリブル	42	ラグビー ステップ
13	運動・スポーツと脳	28	バスケットボール シュート①	43	ラグビー キャッチからパス
14	動きと力	29	バスケットボール シュート②	44	ラグビー タッチ
15	体カトレーニング	30	バスケットボール シュート③	45	ラグビー ターン

添削指導（単元・内容）	
1	【体育理論】 ①運動・スポーツの学び方 1 スポーツにおける技能と体力 2 スポーツにおける技術と戦術 3 技能の上達課程と練習 4 効果的な動きのメカニズム
2	5 体カトレーニング
3	6 運動やスポーツでの安全の確保
スクーリング内容	
第1回	
体育理論	
第2回	
体育理論	
第3回	
体づくり運動	
第4回	
球技（ゴール型：バスケットボール、サッカー）	
第5回	
球技（ゴール型：バスケットボール、サッカー）	
第6回	
球技（ネット型：卓球、バドミントン、バレーボール）	
試験	
添削指導・スクーリング・通信講座での内容を元に、体育で学んだ知識を活用し、スポーツの歴史や特性、現在のスポーツを取り巻く諸問題等を理解し、自らの生活に活かし健康的な生活を送っていける能力が育めているかを評価する。	
担当者から履修者へのメッセージ	
体育は皆さんの心身の健康に関して実技を交えて学ぶ科目です。健康に生活していくために必要な内容がたくさんありますのでしっかり学習していきましょう。	

2024年度学習予定表				瑞穂MSC高等学校	
教科		科目		担当者	
保健体育		体育 3	単位数：3 単位	峯 一貴	
教科目標					
1. スポーツの楽しさを感じ、心と体のリラクセーションを図る。 2. 体づくり運動や種々のスポーツを通じ、体力の向上を図る。 3. スポーツを通して友人との交流を図るとともに、協調性を養う。					
通信講座	あり	講座数：全45回		使用媒体	NHK高校講座
教科書	大修館書店 現代高等保健体育（保体701）				
面接指導	1単位時間×6回			学習用図書	NHK高校講座 動画教材
添削指導	全3回	合格枚数3枚		副教材	なし
期末試験	あり	期末試験割合4割		評価	5段階評価
回	通信講座 (単元・学習内容)	回	通信講座 (単元・学習内容)	回	通信講座 (単元・学習内容)
1	生涯スポーツの見方・考え方	16	バレーボール アタック	31	バドミントン ストローク
2	ライフステージ別にみたスポーツの楽しみ方の例	17	バレーボール ブロック	32	バドミントン スマッシュ
3	スポーツ科学のすすめ	18	テニス フォアハンドストローク	33	バドミントン ドロップ
4	スポーツにかかわる職業	19	テニス フォアボレー	34	ソフトボール 投法
5	ライフスタイルに応じたスポーツ	20	テニス バックボレー	35	ソフトボール キャッチング
6	スポーツライフを規定している諸条件	21	テニス サービス	36	ソフトボール バッティング
7	身のまわりの人のスポーツライフを調べてみよう	22	ソフトテニス ストローク	37	ソフトボール 守備
8	自分でスポーツライフを設計してみよう	23	ソフトテニス サービス①	38	柔道 投げ技①
9	スポーツを推進する取り組み	24	ソフトテニス サービス②	39	柔道 投げ技②
10	トップスポーツと地域スポーツの好循環によるスポーツ推進	25	ソフトテニス ボレー	40	柔道 固め技①
11	諸外国のスポーツを推進する取り組みを調べてみよう	26	卓球 ストローク	41	柔道 固め技②
12	豊かなスポーツライフの創造	27	卓球 ハーフボレー	42	剣道 面打ち

13	バレーボール サーブ	28	卓球 ショートカット	43	剣道 小手打ち
14	バレーボール パス	29	卓球 スマッシュ	44	剣道 胴打ち
15	バレーボール トス	30	バドミントン サービス	45	剣道 抜き技
添削指導（単元・内容）					
1	【体育理論】豊かなスポーツライフの設計 1生涯スポーツの見方・考え方				
2	2ライフスタイルに応じたスポーツ				
3	3スポーツを推進する取り組み 4豊かなスポーツライフの創造				
スクーリング内容					
第1回					
体育理論					
第2回					
体育理論					
第3回					
体づくり運動					
第4回					
球技（ゴール型：バスケットボール、サッカー）					
第5回					
球技（ゴール型：バスケットボール、サッカー）					
第6回					
球技（ネット型：卓球、バドミントン、バレーボール）					
試験					
添削指導・スクーリング・通信講座での内容を元に、体育で学んだ知識を活用し、スポーツの歴史や特性、現在のスポーツを取り巻く諸問題等を理解し、自らの生活に活かし健康的な生活を送っていける能力が育めているかを評価する。					
担当者から履修者へのメッセージ					
体育は皆さんの心身の健康に関して実技を交えて学ぶ科目です。健康に生活していくために必要な内容がたくさんありますのでしっかり学習していきましょう。					

2024年度学習予定表				瑞穂MSC高等学校	
教科	科目			担当者	
保健	保健 1	単位数：1単位		峯 一貴	
教科目標					
1. 個人及び社会生活における健康安全について理解を深める。 2. 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。					
通信講座	なし				
教科書	大修館書店 現代高等保健体育（保体701）				
面接指導	1単位時間×1回		学習用図書	大修館書店 動画教材	
添削指導	全3回	合格枚数3枚	副教材	なし	
期末試験	あり	期末試験割合4割	評価	5段階評価	
回	通信講座（単元・学習内容）		回	添削指導（単元・内容）	
なし	なし	1	【1】現代社会と健康 1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康の姿 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康		
		2	9喫煙と健康 10飲酒と健康 11薬物乱用と健康 12精神疾患の特徴 13精神疾患の予防 喫煙と健康		
		3	【2】安全な社会生活 1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通事故における安全 4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急処置 6 心肺蘇生法		
スクーリング内容					
第1回					
添削指導の内容を元に、健康についての多様な考え方やわが国の現在の健康問題について理解し、自分の事として考える。生活習慣病や、喫煙・飲酒・薬物乱用が人体に及ぼす影響について発表する。					
試験					
添削指導・スクーリング・通信講座での内容を元に、保健で学んだ知識を活用し、自らの生活に活かし健康的な生活を送っていける能力が育めているかを評価する。					
担当者から履修者へのメッセージ					
保健は皆さんの心身の健康に関して学ぶ科目です。健康に生活していくために必要な内容がたくさんありますのでしっかり学習していきましょう。					

2024年度学習予定表				瑞穂MSC高等学校	
教科	科目			担当者	
保健	保健 2	単位数：1単位		辻 建	
教科目標					
1. 個人及び社会生活における健康安全について理解を深める。 2. 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。					
通信講座	なし				
教科書	大修館書店 現代高等保健体育（保体701）				
面接指導	1単位時間×1回		学習用図書	大修館書店 動画教材	
添削指導	全3回	合格枚数3枚	副教材	なし	
期末試験	あり	期末試験割合4割	評定	5段階評点	
回	通信講座（単元・学習内容）	回	添削指導（単元・内容）		
なし	なし	1	【3】生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康		
		2	8働くことと健康 9労働災害と健康 10健康的な職業生活 【4】健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と下水道の整備		
		3	5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動 7保健サービスとその活用 8医療サービスとその活用 9医薬品の制度とその活用 10さまざまな保健活動や社会的対策 11健康に関する環境づくりと社会参加		
スクーリング内容					
第1回					
添削指導の内容を元に健康についての多様な考え方やわが国の現在の健康問題について理解し、自分の事として考える。妊娠や出産について正しい知識を身につけ、自分が理想とする家族計画を発表する。					
試験					
添削指導・スクーリング・通信講座での内容を元に、保健で学んだ知識を活用し、自らの生活に活かし健康的な生活を送っていける能力が育めているかを評価する。					
担当者から履修者へのメッセージ					
保健は皆さんの心身の健康に関して学ぶ科目です。健康に生活していくために必要な内容がたくさんありますのでしっかり学習していきましょう。					

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目		担当者
芸術	音楽 I	単位数:2単位	小林 美友
教科目標			
音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。他教科での学習とも関連させながら、文化的・歴史的背景などとの関わりについて理解するとともに、感性を高め、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			
通信講座	あり	講座数:全11回	使用媒体
教科書	教育出版 音楽 I 改訂版 Tutti(音 I 701)		
面接指導	1単位時間×4回		学習用図書
添削指導	全6回	合格枚数6枚	副教材
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価
100万人のクラシックライブ 自校作成の図書教材 なし 5段階評価			

回	通信講座(単元・学習内容)	回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	暮らしの中にある音楽 ～ 私たちにとって音楽とは？①～(共通事項と各分野)	6	クラシック音楽の歴史～時代を映す音楽～(B鑑賞)	1	古い音楽に思いをはせよう 雅楽の楽器の音色や演奏法、楽器の構造に関心を持ち、日本人の音感覚や美意識、文化・歴史を理解する。
2	さまざまな国や民族の音楽(B鑑賞)	7	指揮者ってどんな仕事？(A歌唱)	2	世界の声の音楽や楽器の音楽について知ろう 世界各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解する。
3	ことばと音楽の不思議な関係(A歌唱)	8	「つまびく」音色の魅力～ギターを知ろう～(A器楽)	3	言葉を生かして旋律をつくろう 「日本歌曲を歌おう」の学習成果を踏まえて、自己のイメージをもって旋律をつくろう
4	ジャズの世界～「即興」で広がる自由な音楽！～(A創作)	9	木管楽器の世界～自然の音色～(A器楽)	4	アンサンブルを楽しもう 様々な楽器の音色の特徴や奏法の関わりを理解し、奏法を身につけると共に、音楽表現を創意工夫しながら活動の楽しさを味わう。
5	リズムってなんだろう？～音楽と生命の源～(A創作)	10	日本の伝統的な楽器を学ぼう(箏・三味線)(A器楽)	5	変奏曲の魅力を探ろう 『24の奇想曲(カプリス)op.1から第24番』の曲の構成を理解し、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ変奏や編曲する技術を身につける。
		11	音楽で豊かな社会を目指して ～私たちにとって音楽とは？②～(共通事項と各分野)	6	物語と音楽の関わりに注目しよう 『欽進帳』などの物語作品を通して、音楽のルーツと特徴を学び、これまでの学習と合わせ、音楽が用いられる意味を考える。

スクーリング内容

第1回 ～身近なものから音楽を生み出してみよう～(A器楽)

通信講座で学習した例をもとに、コップやストローなど、身近なものから音楽を生み出す体験を通じて、人の営みと音楽の関係を実感する。制作した楽器をもとに、どのような表現ができるかグループで実験・検討する。

第2回 ～声を用いた豊かな表現に挑戦しよう～(A歌唱)

言葉の表情が伝わる表現を創意工夫し、録音することで、他者に伝わるコミュニケーションを模索する。課題単語と自ら選んだ単語の2種類に取り組み、課題単語は他者と共有することで、お互いの多様な表現を実感する。

第3回 ～自分の思いを音楽で伝えてみよう～(A創作)

第2回の経験を生かし、言葉のリズムや抑揚をもとに、短いメロディーを創作する。音楽を形づくる要素を意識し、身の回りにある音素材と組み合わせる、複数のメロディーを組み合わせるなど、音楽を作り上げる過程を経験する。

第4回 ～毎日の生活にぴったりの音楽を選ぼう～(B鑑賞)

授業内で鑑賞した多数の音楽作品や、既知の音楽作品の中から、日々の生活のいくつかの場面において、自分がぴったりだと思う音楽のプレイリストを制作する。選んだ理由と併せて、グループディスカッションを行い共有する。

試験

添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に、音楽 I で学んだ知識を活用し、自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、よさや美しさを自ら味わって聴くことができているか評価する。

担当者から履修者へのメッセージ

音楽は言語を超えたコミュニケーションの手段です。音楽と想像力があれば、大昔から現代まで、日本だけでなく世界各地へ、場所も時間も飛び越えて素敵な旅をすることができます！心がおどる時間をぜひ一緒に過ごしましょう♪

2024年度学習予定表				瑞穂MSC高等学校	
教科		科目		担当者	
英語		英語コミュニケーションⅠ	単位数:3単位		長浦
教科目標					
本科目では、英語の特徴やきまりに関する基礎的な事項〔知識及び技能〕を習得し、基本的な語句や文を用いて英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する力〔思考力、判断力、表現力等〕を養う。また、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域での言語活動を通じて総合的な英語の定着を図る。					
通信講座	あり	講座数:全8回	使用媒体	東京書籍	
教科書	東京書籍 All Abroad! English CommunicationⅠ				
面接指導	1単位時間×5回		学習用図書	自校作成の図書教材	
添削指導	全9回	合格枚数9枚	副教材	なし	
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評定	5段階評価	

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	Pre-Lesson1 My Name Is Ito Neko オレの名前は伊藤ネコだ:be動詞	1	Breakfast around the world 私の朝ごはん:過去形 Australia's Cute Quokkas 人なつこい野生動物:進行形
2	Pre-Lesson2 I like Junk Food! オレはジャンクフードが好きだ!:一般動詞	2	A Train Driver in Sanriku 笑顔を運ぶ列車:助動詞
3	Lesson 1 Breakfast around the world 私の朝ごはん:過去形	3	A Miracle Mirror 夢のような絶景:to不定詞
4	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 人なつこい野生動物:進行形	4	Learning from the Sea 長浜高校水族館部:動名詞
5	Lesson 4 A Miracle Mirror 夢のような絶景:to不定詞	5	A Funny Picture from the Edo Period 奇想天外な浮世絵師:受け身
6	Lesson 5 Learning from the Sea 長浜高校水族館部:動名詞	6	A Diary of Hope アンネ・フランク:比較表現
7	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period 奇想天外な浮世絵師:受け身	7	A Door to a New Life ロボットカフェ:現在完了形
8	Lesson 8 A Door to a New Life ロボットカフェ:現在完了形	8	Fighting Plastic Pollution 海の豊かさを守る:名詞を後ろから説明する 分詞
		9	Pigs from across the Sea 海の向こうからの贈り物:関係代名詞

スクーリング内容	
第1回	
第1回添削指導の内容をもとに、『時制』について説明を行う。また、グループワークでは時制を活用し自己紹介を行うことで時制の使い分けを確認しながら相互理解を深める。	
第2回	
第2回添削指導の内容、『助動詞』について、実際に使われている場面を用いて助動詞の基本を確認する。また、推量の助動詞を活用したアクティビティを行い、さらなる定着を図る。	
第3回	
第3回添削指導の内容『to不定詞』について、洋楽を用いてto不定詞の用法を確認する。グループワークでは身近な物語に使われているto不定詞を活用したアクティビティを行い、to不定詞の使い分けをさらに学習する。	
第4回	
第6回添削指導の内容、『比較表現』についての基本を確認する。動詞を変形させる際のルール確認も行う。その後、身近なものを比較したクイズを行い、学習した比較表現を用いて文章で解答を書き、グループ内で共有する。	
第5回	
第9回添削指導の内容『関係代名詞』について、詳しく説明を行う。修飾の方法とその語句を置く場所について、文章を例に挙げながら説明を進める。whoとwhichの使い分け、前置修飾と後置修飾、主格・目的格・所有格の区別など、生徒の様子を見ながら解説する。また、グループワークでは、関係代名詞を定着させるアクティビティを行う。	
試験	
・基礎的な文法項目についての理解と、基礎単語の習得についての確認をする。 ・一定の速度で、基礎的な単語を用いた長文を正しく読解することができるかを問う。	

担当者から履修者へのメッセージ
「英語が通じる国」と聞くと、どこを国を思い浮かべますか？アメリカやカナダ？イギリス？オーストラリアやニュージーランド？実際には、アジア圏やアフリカ大陸などの多くの国でも英語は人々をつなぐツールとして使われています。スマホやPCが普及した今、インターネットで繋がる世界は言語の壁すら超えようとしています。自ら英語を学ぶということは、単なる言語理解のみならず「世界と関わろうとする姿勢」そのものであると思います。この科目を通して、まずは英語の基礎を習得し、大きな世界への一歩を踏み出す勇気を手にしてください。

2024年度学習予定表			瑞穂MSC高等学校
教科	科目		担当者
英語	英語コミュニケーションⅡ	単位数:4単位	長浦
教科目標			
本科目では、語彙や表現などの言語材料がより多様になることから「英語コミュニケーションⅠ」で学習した内容を踏まえ言語活動において繰り返し活用し、生徒が自分の考えなどを話したり書いたりして表現できるような段階まで定着させる。			
通信講座	あり	講座数:全9回	使用媒体
教科書	東京書籍 All Abroad! English CommunicationⅡ		東京書籍
面接指導	1単位時間×7回		学習用図書
添削指導	全12回	合格枚数12枚	自作作成の図書教材
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	副教材
			なし
			5段階評価
回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	Lesson1 A Colorful Island ブルーノ島:関係代名詞(what)	1	Pre-Lesson My Plans for This Year Lesson1 A Colorful Island
2	Lesson2 With the Beatles サムのリクエスト:比較表現	2	Lesson2 With the Beatles サムのリクエスト:比較表現
3	Lesson4 Little Hero ハチドリのおしずく:間接疑問文	3	Lesson3 Wild Men ワイルドマンの世界:itの用法
4	Lesson6 Seeds for Future Generations 伝統野菜を未来につなぐ:動詞の目的語になるif節	4	Lesson4 Little Hero ハチドリのおしずく:間接疑問文
5	Lesson7 Over the Wall アートで世界をつなぐ:関係副詞	5	Lesson5 Special Makeup in Kabuki 歌舞伎メイクの物語:to不定詞を含む表現
6	Lesson9 The Bitter Truth behind Chocolate 甘いチョコレートの苦い現実	6	Reading1 Mujina
7	Lesson10 Fighting Angel ナイチンゲール:分詞構文	7	Lesson6 Seeds for Future Generations 伝統野菜を未来につなぐ:動詞の目的語になるif節
8	Reading1 Mujina	8	Lesson7 Over the Wall アートで世界をつなぐ:関係副詞
9	Reading2 Bear's Pie	9	Lesson8 Inspiration from Nature 自然のデザインに学ぶ:知覚動詞
		10	Lesson9 The Bitter Truth behind Chocolate 甘いチョコレートの苦い現実
		11	Lesson10 Fighting Angel ナイチンゲール:分詞構文
		12	Reading2 Bear's Pie
スクーリング内容			
第1回			
第2回添削指導Lesson2の内容を参考に、曲の聞き取りをし、アーティストについても学ぶ。「比較表現more」の解説を行ったのち、自分の考えを共有するグループワークを行う。また授業内では、これまで学んだ文法の復習や英語の学習方法などについても触れていくことで英語の基礎力向上を目指す。			
第2回			
第2回添削指導Lesson2の内容を参考に、本文中で使われている「比較表現most」を活用し、いろいろなテーマで自分の考えを共有するグループワークを行う。気持ちや感情の表現方法もゲームを通して学ぶ。			
第3回			
第9回添削指導Lesson8の内容を参考に、「知覚動詞」を学習する。見聞きした情報を相手により正確に伝えることができるように、写真や絵の状況を説明するアクティビティをグループで行い、定着を図る。			
第4回			
第4回添削指導Lesson4の内容を参考に、「間接疑問文」を学習する。「間接疑問文」を用いて相手に聞きたいことを共有し、それを「疑問文」に変換したうえでグループ内で聞き合い、相手への理解を深める。			
第5回			
第7回添削指導Lesson6の内容を参考に、「動詞の目的語になるif節」を学習する。「動詞の目的語になるif節」を用いた意見に対しての共感や反論をグループで共有し話し合い、意見交流を行う。			
第6回			
第8回添削指導Lesson 7の内容を踏まえ、「関係副詞where」を学習する。2つの文を1つの文にまとめる方法を学んだあと、「関係副詞where」を用いて、「自分にとって〇〇な場所」というテーマをもとに、グループで紹介し合う。			
第7回			
第8回添削指導Lesson 7の内容を踏まえ、「関係副詞when」を学習する。2つの文を1つの文にまとめる方法を学んだあと、「関係副詞when」を用いて、「自分が戻りたい時」というテーマをもとに、グループで紹介し合う。			
試験			
・語彙力の増加と総合的な英語力の定着、さらに基礎を発展させる力を確認する。 ・文章がやや難解で一文が長くなろうとも正しく読解することができるかを問う。			
担当者から履修者へのメッセージ			
英文法の学びはブロック遊びのようなもので、持ち合わせたブロック(文法・単語)を様々な組み合わせることで、一つの形(文)が出来上がります。そして正しく組み合わせることで、思い通りに整った形になります。もちろん、パーツは多ければ多いほどできる形も増え、なんでも表せるようになりますね。本科目では、英語コミュニケーションⅠでの学びを踏まえ、さらに発展的な表現が登場します。一つひとつのパーツの特徴をよく理解し、みなさんが自由自在に思いを形にできるようになることを願っています。			

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目		担当者
英語	論理・表現 I	単位数:2単位	長浦
教科目標			
・総合的な言語活動を通して、三つの領域「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」を中心とした発信能力の育成を強化する ・スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、一つの段落の文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができるようになる			
通信講座	あり	講座数:全8回	使用媒体
教科書	東京書籍	NEW FAVORITE English Logic and Expression I (論 I 701)	東京書籍
面接指導		1単位時間×4回	学習用図書
添削指導	全6回	合格枚数6枚	自校作成の図書教材
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	副教材
			なし
			5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	Unit1 Lesson1 初めての食事 □褒める □勧める □断る	1	Unit1 Lesson1 初めての食事 Lesson2 道に迷う Lesson3 人物紹介
2	Unit1 Lesson5 買い物 □描写する □相づちを打つ	2	Lesson4 体調が悪い Lesson5 買い物 Lesson6 行ってみたい場所
3	Lesson12 英字新聞に投稿 □要望や主張を述べる □理由を述べる	3	Lesson7 イベントに誘われる Lesson8 スクールカウンセラーに相談 Lesson9 お気に入りを紹介
4	Unit2 Lesson1 クラスでディベート① □理由を述べる □例を挙げる	4	Lesson10 待ち合わせに遅刻 Lesson11 家庭でのディスカッション Lesson12 英字新聞に投稿
5	Lesson2 クラスでディベート② □反駁する □引用する	5	Unit2 Lesson1 クラウドでディベート① Lesson2 クラウドでディベート② Lesson3 経験談のスピーチ Lesson4 遊びやスポーツを紹介
6	Lesson6 物事の両面を伝える □利点と欠点を述べる □話題を発展させる □話題を変える	6	Lesson5 日本をPR Lesson6 物事の両面を伝える Lesson7 読み手を納得させる Lesson8 読み手を説得する
7	Lesson7 読み手を納得させる □主張を説明する □要約する		
8	Lesson8 読み手を説得する □引用する □条件を出して意見を述べる □説得する		

スクーリング内容

第1回

第1回添削指導Unit2 Lesson 5・6の内容を学習し、具体例を用いながら自分自身の長所と短所の両面を伝え合う。お互いの長所と短所を理解しながら、物事の両面を伝える方法を実践する。

第2回

第3回添削指導Unit 1 Lesson 7 の内容を活用し、誘いを受けたときの断り方を考える。国や文化の差による断り方違いも交えながら、相手を不快にさせない丁寧な断り方を学習し、グループ内で練習する。

第3回

第3回添削指導Unit 1 Lesson 8の内容を活用し、否定疑問文を使って悩みに対してアドバイスをしたりする表現を学習し、実際にそれらが使われているシチュエーションを用いて学びを深める。

第4回

第5回添削指導Unit2 Lesson2の内容を活用し、否定形を使って自分の意見をより具体的に表現する表現を学習する。実際に使う場面を想像してその表現を活用することで、学びを深める。

試験

・教科書の本文をスムーズに読解し、正しく理解できているかを確認する。
 ・論理の構成や展開を理解し、それに応じて教科書に掲載されている語句や表現などを活用しながら適切な表現を使うことができるかを問う。

担当者から履修者へのメッセージ

言葉はツールです。英語もまた、世界一多くの人々がコミュニケーションをとるために使用しているツールです。このツールを使い、あなたは世界の何を知りたいですか？また世界に何を伝えたいのでしょうか？この科目では、自分の思いをまとめ相手に伝えることや、相手の思いを聞き自分なりに考えることを通じて「伝えるための論理・表現」の方法を学びます。
 またロールプレイの内容も世界について知るきっかけになるように様々なお題を用意しました。それらを通じて、皆さんの視野が広がることを願っています。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目		担当者
英語	論理・表現Ⅱ	単位数:2単位	長浦
教科目標			
・総合的な言語活動を通して、三つの領域「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」を中心とした発展的な発信能力の育成を強化する ・スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、複数の段落からなる文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができるようになる			
通信講座	あり	講座数:全13回	使用媒体 東京書籍
教科書	東京書籍	NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ(論Ⅱ701)	
面接指導		1単位時間×4回	学習用図書 自校作成の図書教材
添削指導	全6回	合格枚数6枚	副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価 5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	Unit1 Lesson1 友達に報告する □訂正する □心配する □感謝する	1	Unit1 Lesson1 友達に報告する Lesson2 日本での初登校 Lesson3 経験についてのスピーチ Lesson4 ファンレター
2	Lesson2 日本での初登校 □驚く □繰り返す □言い換える		
3	Lesson7 翻訳についてのスピーチ □要約する □言い換える	2	Lesson5 イベントに誘う Lesson6 図書館で資料さがし Lesson7 翻訳についてのスピーチ Lesson8 通信販売で返品依頼
4	Lesson8 通信販売で返品依頼 □困ったことを伝える・説明する □控えめに依頼する		
5	Lesson10 友達とディスカッション □仮定する □反対する	3	Lesson9 タクシーに乗る Lesson10 友達とディスカッション Lesson11 比較結果のプレゼンテーション Lesson12 就きたい職業
6	Lesson11 比較結果のプレゼンテーション □報告する □比較して説明する		
7	Lesson12 就きたい職業 □説明する □理由を述べる □仮定する Column プレゼンテーションで使う資料	4	Unit2 Lesson1 クラスでディベート① Lesson2 クラスでディベート② Lesson3 クラスでディベート③
8	Unit2 Lesson1 クラスでディベート① □推論する □賛成・反対する		
9	Lesson2 クラスでディベート② □主張する□推論する □賛成・反対する	5	Lesson4 調査結果のプレゼンテーション Lesson5 社会問題についてのスピーチ
10	Lesson3 クラスでディベート③ □推論する □説得する		
11	Lesson5 社会問題についてのスピーチ □説明する □主張する □提案する	6	Lesson6 仮定して推論する Lesson7 比較して説明する Lesson8 読み手を説得する
12	Lesson6 仮定して推論する □仮定する □推論する		
13	Lesson8 読み手を説得する □主張する □説得する Column アメリカ式つづりとイギリス式つづり		

スクーリング内容

第1回

第1回添削指導の内容を活用し、自分が体験した珍しい出来事についてペアで対話の練習をする。その際、第1回・2回通信講座の内容を参考にしながら、相手の話を聞くのみならず、質問したり、感想を述べたりして「対話」を意識しながらのワークとなるようにする。

第2回

第2回添削指導の内容を踏まえ、最近困ったことや、文句を言いたい出来事についてグループ内で発表する。それについて、グループメンバーから解決策の提案や、励ましをもらうことで、様々な感情の表現方法を共有する。

第3回

第3回添削指導の内容を踏まえ、翻訳に挑戦する。英語のペアで一つ歌詞や詩を選び、各自で日本語に翻訳する。その後、それぞれの訳を見せあいながら、内容の差や語感の違いを見つけて、学びを共有する。

第4回

第11回添削指導の内容を踏まえ、関心のある社会問題について説明し、そのことについての自分の意見を発表する。国内外の問題に目を向け、考え、自分なりの意見を持つことができるようにする。

試験

・教科書の本文をスムーズに読解し、正しく理解できているかを確認する。
・論理の構成や展開を理解し、それに応じて適切に多様な表現を用いて自分の意見を伝えることができるかを問う。

担当者から履修者へのメッセージ

この科目の教科書を見たとき「あれ?」と思いました。論理・表現Ⅰではたくさん補われていた語句の掲載がなかったからです。その疑問はすぐに解けました、皆さん自身が必要なことを考え・調べ・使ってみることが学習の第一歩であるとの思いからだそうです。これには大賛成。まずは手持ちの単語や表現でどうにかならないか?ではどのように表現すれば伝わるのか?自分ならどれを使うか?英語に「ひとつの正解」はありません。間違えることを恐れずにどんどん表現してみてください。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目		担当者
家庭	家庭総合1	単位数:2単位	辰濃菜穂
教科目標			
様々な人々と協同し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。特に、家庭総合1では、人の一生と家族・家庭、衣生活、住生活、消費生活に重点を置き、生活を主体的に営むために必要な知識・技能を習得したうえで、生涯を見通して家庭や地域及び社会における生活課題を解決する力を養う。			
通信講座	あり	講座数:全10回	使用媒体 自校作成動画
教科書	東京書籍 家庭総合 自立・共生・創造 (家総701)		
面接指導	1単位時間×2回		学習用図書等 東京書籍動画
添削指導	全4回	合格枚数4枚	副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価 5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	高校家庭科の世界へようこそ	1	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第3章 子どもと共に育つ 自立した生活を営むために意思決定をしていくことの重要性を理解する。家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深める。子どもの健やかな発達を支えるために周囲の果たす役割の重要性を考える。
	人生設計を考えよう		
2	家族の役割って何？	2	第7章 衣生活をつくる 第8章 住生活をつくる 被服に関する事柄について科学的に理解し、健康で快適、機能的な着装について考える。快適で安全な住空間を計画するために必要な情報を収集・整理できる。
	家族に関わる制度が変わる？		
3	子どもの権利を考えよう	3	第9章 経済生活を営む 生活における経済の管理や計画、リスク管理の考え方について理解を深める。消費者の権利と責任を自覚して行動できるようになる。
	界面活性剤の働きを知ろう		
4	和服から持続可能性を考える	4	添削指導で学んだことを生かして考えよう！ 様々な場面で悩む人たちに適切なアドバイスを行う。特に、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるように考える。
	快適な住まいを作ろう		
5	お金を活かす？家計管理を考えよう	5	
	あなたの消費行動で社会を変える！		

スクーリング内容

第1回 ～子ども服を選ぼう！～

添削指導で学んだ基礎的な知識を活用し、実生活での問題を自分事として考える。特に、多様な選択肢のある現代社会において、様々な情報を取捨選択し、最適な子ども服を選択ができるようにグループディスカッションを行う。

第2回 ～住居を選ぼう！～

添削指導で学んだ基礎的な知識を活用し、実生活での問題を自分事として考える。特に、多様な選択肢のある現代社会において、様々な情報を取捨選択し、最適な住居を選択ができるようにグループディスカッションを行う。

試験

添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に、家庭総合で学んだ知識を活用し、自らの生活について考えられているか評価する。

担当者から履修者へのメッセージ

家庭科は皆さんの生活に寄り添う科目です。幅広い内容ではありますが、これからのよりよい生活のために、1つ1つの課題に前向きに取り組んでください。スクーリングでは自らの考えをまとめ、グループディスカッションする時間を設けています。事前に得た知識を元に、みなさんの新しい意見や考えに触れられることを楽しみにしています。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目		担当者
家庭	家庭総合1	単位数:2単位	辰濃菜穂
教科目標			
様々な人々と協同し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。特に、家庭総合1では、人の一生と家族・家庭、衣生活、住生活、消費生活に重点を置き、生活を主体的に営むために必要な知識・技能を習得したうえで、生涯を見通して家庭や地域及び社会における生活課題を解決する力を養う。			
通信講座	あり	講座数:全10回	使用媒体 自校作成動画
教科書	東京書籍 家庭総合 自立・共生・創造 (家総701)		
面接指導	1単位時間×2回		学習用図書等 東京書籍動画
添削指導	1単位×2回		副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価 5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	高校家庭科の世界へようこそ	1	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第3章 子どもと共に育つ 自立した生活を営むために意思決定をしていくことの重要性を理解する。家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深める。子どもの健やかな発達を支えるために周囲の果たす役割の重要性を考える。
2	家庭科の学習と生活設計		
3	家族の役割って何？		
4	家族に関わる制度が変わる？	2	第7章 衣生活をつくる 第8章 住生活をつくる 被服に関する事柄について科学的に理解し、健康で快適、機能的な着装について考える。快適で安全な住空間を計画するために必要な情報を収集・整理できる。
5	子どもの権利を考えよう		
6	界面活性剤の働きを知ろう		
7	和服から持続可能性を考える	3	第9章 経済生活を営む 生活における経済の管理や計画、リスク管理の考え方について理解を深める。消費者の権利と責任を自覚して行動できるようになる。
8	快適な住まいを作ろう		
9	お金を活かす？家計管理を考えよう	4	添削指導で学んだことを生かして考えよう！ 様々な場面で悩む人たちに適切なアドバイスを行う。特に、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるように考える。
10	あなたの消費行動で社会を変える！		

スクーリング内容

第1回 ～子ども服を選ぼう！～

添削指導で学んだ基礎的な知識を活用し、実生活での問題を自分事として考える。特に、多様な選択肢のある現代社会において、様々な情報を取捨選択し、最適な子ども服を選択ができるようにグループディスカッションを行う。

第2回 ～ミンサー織はざれで商品開発しよう！～

ミンサー織について学習する。そのうえで、添削指導で学んだ知識を活用し、ミンサー織はざれを使用した商品開発をするため、グループディスカッションを行い、新たな活用方法を提案する。

試験

添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に、家庭総合で学んだ知識を活用し、自らの生活について考えられているか評価する。

担当者から履修者へのメッセージ

家庭科は皆さんの生活に寄り添う科目です。幅広い内容ではありますが、これからのよりよい生活のために、1つ1つの課題に前向きに取り組んでください。スクーリングでは石垣島のミンサー織に触れる機会を作っています。事前に得た知識を元に、みなさんの新しい意見や考えに触れられることを楽しみにしています。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目		担当者
家庭	家庭総合2	単位数:2単位	辰濃菜穂
教科目標			
様々な人々と協同し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。特に、家庭総合2では、家族・家庭及び福祉、食生活、環境に重点を置き、得た知識や技能を生かし、様々な人々と協同し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画するとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。			
通信講座	あり	講座数:全10回	使用媒体 自校作成動画
教科書	東京書籍 家庭総合 自立・共生・創造 (家総701)		
面接指導	1単位時間×2回		学習用図書等 東京書籍動画
添削指導	全4回	合格枚数4枚	副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価 5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	高校家庭科の世界を深めよう ～家庭総合1との繋がり～	1	第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える 高齢者の自立を支えるために、周囲の果たす役割の重要性について考える。生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援を理解する。
2	高齢者の介護を考えよう		
3	みんなが共に生きる社会を考えよう！	2	第6章 食生活をつくる 食生活を取り巻く課題について理解する。自己と家族の食生活の計画・管理ができるようになる。食に関する事柄について科学的に理解する。日本の食文化の継承・創造について考え、工夫する。
4	健康的な食生活でできますか？		
5	やってみよう！調理を科学する		
6	安心・安全な食生活のために	3	第10章 持続可能な生活を営む 第11章 これからの生活を創造する 持続可能な社会へ参画することの意義について理解し、主体的に行動できるようになる。生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、生活資源を活用して生活設計を工夫する。
7	持続可能な社会のために今できること		
8	ホームプロジェクトのヒント①		
9	ホームプロジェクトのヒント②	4	ホームプロジェクト 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践する。(家庭総合1の内容を含む)
10	高校家庭科の学びを未来に		

スクーリング内容

第1回 ～パーティーを開こう～

添削指導で学んだ基礎的な知識を活用し、実生活での問題を自分事として考える。特に、様々なライフステージの特徴を踏まえて食事計画を立て、グループディスカッションを行う。(家庭総合1の内容を含む)

第2回 ～石垣島の「かまぼこ」を宣伝しよう！～

石垣島の「かまぼこ」について学習する。そのうえで、添削指導で学んだ基礎的な知識を活用し、「かまぼこ」を宣伝する方法やその重要性についてグループディスカッションを行う。(家庭総合1の内容を含む)

試験

添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に、家庭総合で学んだ知識を活用し、自らの生活について考えられているか評価する。

担当者から履修者へのメッセージ

家庭科は皆さんの生活に寄り添う科目です。幅広い内容ではありますが、これからのよりよい生活のために、1つ1つの課題に前向きに取り組んでください。スクーリングでは石垣島のかまぼこに触れる機会を作っています。事前に得た知識を元に、みなさんの新しい意見や考えに触れられることを楽しみにしています。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目		担当者
家庭	家庭総合2	単位数:2単位	辰濃菜穂
教科目標			
様々な人々と協同し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。特に、家庭総合2では、家族・家庭及び福祉、食生活、環境に重点を置き、得た知識や技能を生かし、様々な人々と協同し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画するとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。			
通信講座	あり	講座数:全10回	使用媒体 自校作成動画
教科書	東京書籍 家庭総合 自立・共生・創造 (家総701)		
面接指導	1単位時間×2回		学習用図書等 東京書籍動画
添削指導	全4回	合格枚数4枚	副教材 なし
期末試験	あり	期末試験評価割合2割	評価 5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	高校家庭科の世界を深めよう ～家庭総合1との繋がり～ 高齢者の介護を考えよう	1	第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える 高齢者の自立を支えるために、周囲の果たす役割の重要性について考える。生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援を理解する。
2	みんなが共に生きる社会を考えよう！ 健康的な食生活でできますか？	2	第6章 食生活をつくる 食生活を取り巻く課題について理解する。自己と家族の食生活の計画・管理ができるようになる。食に関する事柄について科学的に理解する。日本の食文化の継承・創造について考え、工夫する。
3	やってみよう！調理を科学する 安心・安全な食生活のために	3	第10章 持続可能な生活を営む 第11章 これからの生活を創造する 持続可能な社会へ参画することの意義について理解し、主体的に行動できるようになる。生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、生活資源を活用して生活設計を工夫する。
4	持続可能な社会のために今できること ホームプロジェクトのヒント①		
5	ホームプロジェクトのヒント② 高校家庭科の学びを未来に	4	ホームプロジェクト 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践する。(家庭総合1の内容を含む)

スクーリング内容

第1回 ～パーティーを開こう～

添削指導で学んだ基礎的な知識を活用し、実生活での問題を自分事として考える。特に、様々なライフステージの特徴を踏まえて食事計画を立て、グループディスカッションを行う。(家庭総合1の内容を含む)

第2回 ～持続可能な社会って何？～

添削指導で学んだ基礎的な知識を活用し、実生活での問題を自分事として考える。特に、自分の興味・関心の強い単元で「持続可能な社会」について考えをまとめ、発表資料を作成し、発表する。また、他者の発表を聞き、持続可能な社会についてさらに考えを深める。

試験

添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に、家庭総合で学んだ知識を活用し、自らの生活について考えられているか評価する。

担当者から履修者へのメッセージ

家庭科は皆さんの生活に寄り添う科目です。幅広い内容ではありますが、これからのよりよい生活のために、1つ1つの課題に前向きに取り組んでください。スクーリングではグループディスカッションや体験活動を多く取り入れます。事前に得た知識を元に、みなさんの新しい意見や考えに触れられることを楽しみにしています。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目		担当者	
情報	情報Ⅰ	単位数:2単位	新井啓介	
教科目標				
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
通信講座	あり	講座数:全10回	使用媒体	自校作成動画
教科書	東京書籍 新編 情報Ⅰ（東書 情Ⅰ701）			
面接指導	1単位時間×2回		学習用図書	東京書籍
添削指導	全4回	合格枚数4枚	副教材	なし
期末試験	あり	期末試験評価割合20%	評定	5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	情報モラル	1	第1章: 情報で問題を解決する 第2章: 情報を伝える(11-13節)
2	個人情報		
3	著作権	2	第2章: 情報を伝える(14-20節) 第3章: コンピュータを活用する(21-26節)
4	デジタル表現(1)		
5	デジタル表現(2)	3	第3章: コンピュータを活用する(27-30節) 第4章: データを活用する
6	演算の仕組み		
7	プログラムの基本構造		
8	インターネットの仕組み	4	第5章: 活動して提案する
9	情報セキュリティ		
10	プレゼンテーション		

スクーリング内容

第1回 ～発想法・情報の整理～

携帯端末を利用し都市の特産品(お土産)について情報を収集し、新しい特産品を考案するために発想法を用いたグループワークを体験する。

第2回 ～情報通信ネットワーク・情報の伝達～

普段利用しているインターネットの仕組みを理解する。第1回で考案した特産品を紹介するプレゼンテーションをグループワークで行う。情報収集と、情報伝達手段としてのプレゼンテーションの理解を深める。

試験

添削指導・通信講座・面接指導での内容を元に、情報 I で学んだ知識を活用し、情報と情報技術を適切に活用できるか、その手段と方法が考えられているか総合的に評価する。

担当者から履修者へのメッセージ

情報科は情報の扱い方を学ぶ科目です。情報過多と言われる現代社会でどのように溢れかえる情報と付き合っていけば良いか考えていきましょう。普段目になっているデジタルで表現された情報の仕組みについても理解を深めていきましょう。

2024年度学習予定表

瑞穂MSC高等学校

教科	科目		担当者	
情報	情報Ⅱ	単位数:2単位	新井啓介	
教科目標				
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的創造的に活用し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与するための資質・能力を育成することを目指す。				
通信講座	あり	講座数:全10回	使用媒体	自校作成動画
教科書	東京書籍 情報Ⅱ (東書 情Ⅱ701)			
面接指導	1単位時間×2回		学習用図書	東京書籍
添削指導	全4回	合格枚数4枚	副教材	なし
期末試験	あり	期末試験評価割合20%	評定	5段階評価

回	通信講座(単元・学習内容)	回	添削指導(単元・内容)
1	プログラムで絵を描こう	1	実習編(1章～4章)
2	3Dの新製品の開発をしよう		
3	ガチャは何回引けば当たるのか	2	第2章:理論編(1章～2章)
4	掲示板システムを作ろう		
5	コンテンツの発信	3	第2章:理論編(3章～4章)
6	データの分析と分類		
7	情報セキュリティ技術		
8	情報システムの設計	4	活用編
9	アイデアを出す方法		
10	プレゼンテーション		
スクーリング内容			
第1回 ～POSシステムを調べる～			
身近な情報システムの仕組みを理解する。POSシステムを使用したレジにおける情報の流れを考え、バーコードの仕組みを考える。今後のシステムについてグループディスカッションを行う。			
第2回 ～小さな情報システムを作ろう～			
POSレジの仕組みを簡易的に再現したシステムを利用し、データの活用について考える。登録する商品を考え、バーコードを作成する。バーコードから簡易な伝票を作成できることを確認する。			
試験			
添削指導・通信講座・面接指導での内容を基に、情報Ⅱにおいて最も大切な情報活用能力が習得できているか、その知識・理論と実行・活用能力が体系的に理解できているか総合的に評価する。			

担当者から履修者へのメッセージ

情報Ⅰで習得した知識・技術を基礎にして、より深く実践的な知識や考えに触れていきます。普段何気なく目にする情報技術にも触れていくので、新たな気づきを得る機会になるかも知れません。少し複雑な内容もありますが一つひとつ理解していきましょう。

2024年度学習予定表			瑞穂MSC高等学校		
教科	科目			担当者	
総合的な探究の時間	探究1	単位数:1単位		峯 一貴	
教科目標					
探究の見方・考え方を働かせ、地域や社会の人・もの・ことに関わる総合的な学習を通して自己の在り方生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決ができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。 ■地域や社会の人・もの・ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気付き、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付く。					
通信講座	なし				
教科書	なし				
面接指導	1単位時間×1回	学習用図書		自校作成の図書教材	
添削指導	1単位×1回	副教材		なし	
期末試験	なし	評定		なし	
回	添削指導(単元・内容)				
1	石垣市のホームページを参照し、地域が抱える社会課題を考える				
スクーリング内容					
第1回					
石垣市のホームページを参照し、地域が抱える社会課題を考える 地域が抱える問題について、「環境」「福祉・健康」「国際理解」「情報」のテーマごとに課題をあげ、グループで解決策を話し合う。					
担当者から履修者へのメッセージ					
探究1では、私たちの本校が所在する沖縄県石垣市をピックアップします。地域が抱える社会課題について、その複合的な要素の一つ一つを、実社会と照らし合わせながら考えてみましょう。					

2024年度学習予定表				瑞穂MSC高等学校
特別活動			担当者	
			峯 一 貴	
目標				
(1)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。				
(2)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり意思決定したりすることができるようにする。				
(3)自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。				
通信講座	あり (該当者のみ)	講座数:全6時間	使用媒体	自校作成動画
教科書	なし			
面接指導	あり	全10時間	学習用図書等	なし
添削指導	なし		副教材	なし
期末試験	なし			
回	通信講座 (単元・学習内容)			
1	転入学時オリエンテーション① 学校生活の過ごし方			
2	転入学時オリエンテーション② 学習の進め方・計画の立て方			
3	ネットリテラシー① 学校生活におけるNETコミュニケーションスキル			
4	ネットリテラシー② SNSの正しい使い方			
5	医療系特別講座① 薬の基礎知識と登録販売者			
6	医療系特別講座② 薬物乱用の危険性			
スクーリング内容				
第1回				
スクーリング開講式				
第2回				
地域体験学習①				
第3回				
地域体験学習②				
第4回				
スクーリング閉校式				
担当者から履修者へのメッセージ				
学校生活を通して、社会の見方や考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組んでいきましょう。 スクーリングでは、お互いのよさや可能性を発揮しながら、集団や自己の生活上の課題をみつけ、解決する能力を養えるような活動をしましょう。				

2024年度学習予定表				瑞穂MSC高等学校
特別活動			担当者	
			峯 一 貴	
目標				
(1)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり意思決定したりすることができるようにする。 (3)自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。				
通信講座	あり (該当者のみ)	講座数:全6時間	使用媒体	自校作成動画
教科書	なし			
面接指導	あり	全10時間	学習用図書等	なし
添削指導	なし		副教材	なし
期末試験	なし			
回	通信講座 (単元・学習内容)			
1	転入学時オリエンテーション① 学校生活の過ごし方			
2	転入学時オリエンテーション② 学習の進め方・計画の立て方			
3	ネットリテラシー① 学校生活におけるNETコミュニケーションスキル			
4	ネットリテラシー② SNSの正しい使い方			
5	医療系特別講座① 薬の基礎知識と登録販売者			
6	医療系特別講座② 薬物乱用の危険性			
スクーリング内容				
第1回				
スクーリング開講式				
第2回				
人生スゴロク(進路・ライフプランニング)				
第3回				
医療系体験型学習				
第4回				
スクーリング閉校式				
担当者から履修者へのメッセージ				
学校生活を通して、社会の見方や考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組んでいきましょう。 スクーリングでは、お互いのよさや可能性を発揮しながら、集団や自己の生活上の課題をみつけ、解決する能力を養えるような活動をしましょう。				

特別活動学習指導案（略案）

授業者：辰濃菜穂

1. 実施日時・場所：
2. 実施科目：特別活動
3. 内容：スクーリングオリエンテーション・アイスブレイク
4. 本時の目標：

多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。（知識・技能）

主体的に集団に参加し、自己開示を行う。（態度）
5. 学習の流れ（展開）

時間 (分)	学習活動	指導上の工夫・留意事項	準備物 評価方法等
5 分	始業の挨拶 出席確認	出席状況を確実に把握する	
10 分	スクーリング開講式	流れは資料参照	スライド しおり
10 分	スクーリングについての説明 を聞く 事前に配布されたしおりを見なが ら聞く。 大切なところには線を引いたり、 メモをしたりする。	重要事項については、丁寧に抜けの内容 に説明する。 不明点や不安点がなくなるよう、適宜質 問を受け付ける時間を作る。 生徒指導上、「知らなかった」とならな いように対応する。	
15 分	「嘘を見破れ」ゲーム ・説明を聞く ・3 分間自己紹介文を考える ・発表する（個人） ・嘘だと思うものに挙手する	説明時に教員が具体例を紹介する。 参加人数により、グループか全体かの判 断を行う。（目安：5 名までは全体） 発表が難しい生徒には、紙に書いて見せ る等で参加できるよう、配慮を行う。 問題発言等があった場合はその場で指 導を行う。	スライド A3 用紙
10 分	本時の振り返り 授業の感想を記入する。 終業の挨拶	他の時間でも使用するため、確実にアン ケートフォームが提出できているか確 認する。	感想用アンケ ートフォーム (態度)

特別活動 学習指導案（略案）

授業者：辰濃菜穂

1. 実施日時・場所：
2. 実 施 科 目 ：特別活動（介護等体験）
3. 内 容 ：高齢者の生活を体験しよう
4. 本 時 の 目 標 ：
多様な他者と協働する様々な集団の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする。

5. 学習の流れ（展開）

時間 (分)	学習活動	指導上の工夫・留意事項	準備物 評価方法等
2 分	始業の挨拶 出席確認 授業の注意事項	授業ルールの徹底	
5 分	体験内容について知る	体験内容について説明する ・ 高齢者体験 ・ 半身まひ体験 ケガをしないために、無理をしないことを強調する。	授 業 プ リ ン ト (知識)
30 分	体験する グループを作り、当事者と介助者に分かれ、体験活動を行う。	机間巡視を行い、各班の状況を確認する。基本的には生徒同士の自主性に任せる。	高齢者・半身 まひ 体 験 セ ット
5 分	体験の感想 各種体験を当事者・介助者として行った感想を記入する。添削指導での学習内容を生かした活動ができたかの評価も合わせて行う。	机間巡視を行い、手の止まっている生徒や早く終わっている生徒には声掛けを行う。	(態度) 授 業 プ リ ン ト
3 分	全体発表 代表者に感想を発表してもらう。	時間配分の調整を行いながら、発表者の人数を決める。	(思考)
5 分	本時の振り返り 授業の感想を記入する。 終業の挨拶		感想用アンケ ートフォーム (態度)

特別活動 学習指導案（略案）

授業者：辰濃菜穂

1. 実施日時・場所：
2. 実 施 科 目 ：特別活動（介護等体験）
3. 内 容 ：高齢者の生活を体験しよう
4. 本 時 の 目 標 ：
多様な他者と協働する様々な集団の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする。
5. 学習の流れ（展開）

時間 (分)	学習活動	指導上の工夫・留意事項	準備物 評価方法等
2 分	始業の挨拶 出席確認 授業の注意事項	授業ルールの徹底	
5 分	体験内容について知る	体験内容について説明する ・高齢者体験 ・半身まひ体験 ケガをしないために、無理をしないことを強調する。	授 業 プ リ ン ト (知識)
30 分	体験する グループを作り、当事者と介助者に分かれ、体験活動を行う。	机間巡視を行い、各班の状況を確認する。基本的には生徒同士の自主性に任せる。	高齢者・半身 まひ 体 験 セ ット (態度)
5 分	体験の感想 各種体験を当事者・介助者として行った感想を記入する。添削指導での学習内容を生かした活動ができたかの評価も合わせて行う。	机間巡視を行い、手の止まっている生徒や早く終わっている生徒には声掛けを行う。	授 業 プ リ ン ト (思考)
3 分	全体発表 代表者に感想を発表してもらう。	時間配分の調整を行いながら、発表者の人数を決める。	
5 分	本時の振り返り 授業の感想を記入する。 終業の挨拶		感想用アンケ ートフォーム (態度)

特別活動学習指導案（略案）

授業者：峯 一貴

1. 実施日時・場所：
2. 実施科目：特別活動
3. 内容：キャリアプランニング①
4. 本時の目標：自らのキャリアやこれからの学びや生き方を見通し、これからの活動を想像・計画する（知識・技能）（態度）
5. 学習の流れ（展開）

時間 (分)	学習活動	指導上の工夫・留意 事項	準備物 評価方法等
5 分	始業の挨拶 出席確認		
10 分	将来の夢について考 える		スライド
20 分	進路サイトの紹介 希望職業調べ 学校調べ	進路未定の生徒につ いては、グループ内 の生徒と同じ職業で 考えてみるように声 を掛ける	サイト URL
10 分	希望職種にかかわる 学校を調べ、パンフ レットを請求する	オープンキャンパス に参加したことがあ る生徒は、「自己 PR」と「志望動機 書」の作成に当たる	
5 分	本時の振り返り アンケートフォーム に授業の感想を記入 する。 終業の挨拶		感想用アンケートフ ォーム (態度)

特別活動学習指導案（略案）

授業者：辰濃菜穂

1. 実施日時・場所：
2. 実施科目：特別活動
3. 内容：スクーリング振り返り・今後の学校生活
4. 本時の目標：

多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。（知識・技能）

（態度）

5. 学習の流れ（展開）

時間 (分)	学習活動	指導上の工夫・留意事項	準備物 評価方法等
3分	始業の挨拶 出席確認		
7分	スクーリングを振り返る (個人作業) 事前に配布されたしおりやスクーリング中の学びの資料を見る。 プリントにスクーリングの振り返りを記入する。		スライド しおり
20分	(グループ発表) ・記入した振り返りをもとに1人3分～5分、スクーリングの感想を発表する。 ・それぞれの発表を聞いて感じたことや気づいたことをメモする。	発表が難しい生徒については、記入したシートを見せる等の配慮が必要。	スライド A3用紙
5分	アンケートフォーム入力	最後の提出物になるため、抜けがないか確認を行う。	感想用アンケートフォーム（態度）
10分	閉講式	資料参照 生徒代表者を事前に決めておき、記録する。（※指導要録記載） 終了後、解散	